保証書　持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間中でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	HDMI端子付DVDプレーヤー			★お買上日：　　年　　月　　日
型　番	DVD-199Z	品　番	07-2199	保証期間：本体1年間(お買上げの日から)

お客様	★お名前　　　　　　様
	★ご住所　〒　　－ 電話　　(　　　)

見本

修理メモ

販売店	★住所　店名　電話　　　㊞

(注)★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室へ
●フリーダイヤル(無料) 0120-963-006
●携帯電話・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日 9:00～17:30 土曜 9:00～17:00 日曜・祝日及び年末年始は除きます

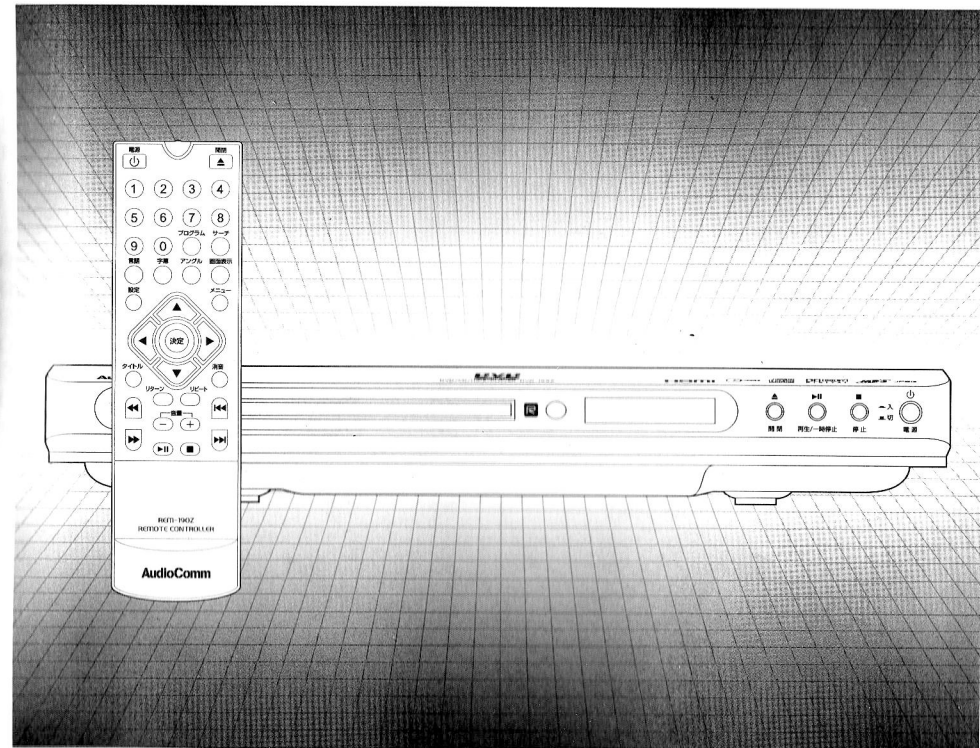
修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付 048-992-3970 平日 9:00～17:00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-2199A

AudioComm®

取扱説明書 保証書付

HDMI端子付DVDプレーヤー

型番：DVD-199Z
品番：07-2199

このたびは、AudioComm® HDMI端子付DVDプレーヤーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

ご注意

はじめに

接　続

設　定

DVDを観る

CDを聴く

故障かな

用語解説

質問／お手入れ／その他

安全にお使いいただくために

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって二段階に表示しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告　この表示の注意事項を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

注意　この表示の注意事項を守らなかった場合、けがをしたり、物的損害を受けたりする可能性があることを示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています（下記は絵表示の一例です）。

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

※この製品の故障、誤動作、不具合などによって発生した次にあげる損害などの附随的損害補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
●お客様または第三者がDVD／CDディスクへ記録された内容の損害
●再生でお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害
※地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

⚠警告

日本の家庭用電源で使う

電源コードのプラグは、家庭用コンセント(AC　100V　50／60Hz)につないでください。海外などの異なる電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

電源コードやプラグを傷つけない

電源コードやプラグの損傷による火災や感電を防ぐため、次のことをお守りください。
・電源コードやプラグを加工したり、傷つけたりしない。
・無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
・電源コードの表面のビニールを熱器具に近づけたり、加熱しない。
・電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜く。

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。

電源プラグは定期的に掃除、点検する

電源プラグは差したままにせず、定期的に点検し、付着したホコリや汚れなどを拭き取ってください。汚れにより発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠警告

プラグを抜く

電源コードが傷んだときは、電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

本体を修理、改造しない
火災、感電の原因となります。

本機内部に異物や水分を入れない
金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると感電や火災の原因となります。
・ディスクトレイ等から金属や燃えやすいものを内部に差し込んだり落とし込んだりしない。
・本機の上に水の入った容器や小さな金属類（クリップや針、コイン、安全ピンやヘアピンなど）を置かない。
・水がかかるような場所（風呂場、台所・洗面所等）では使用しない。特に窓際で使用する場合、雨天時や降雪時または結露等に注意する。

雷が鳴りだしたら、電源コードやプラグに触れない
感電の原因となります。

次のような症状が見つかったら
・異常な音やにおいがする、煙が出ている。
・内部に水や異物が入った。
・本機を落とした、本機の一部を破損した。
・正常に動作しない。
・電源コードやプラグに傷がある。

電源を切り、電源コードを家庭用コンセントから抜き、お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターに修理をご依頼ください。

落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターに点検・修理をご依頼ください。

雨天時や降雪時の屋外、海岸、水辺など、水がかかったり、湿気の多い場所に置いたり使用したりしない
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物等が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

車の中で使わない
本機は車載用ではありませんので、車の中では使用しないでください。また、自動車内に放置しないでください。車載で使用した場合、車特有のノイズを拾い、音声や画像が乱れます。窓を閉め切った自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火、発煙事故の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因となります。市販されている電源コンバーター等を使って本機を使用しないでください。

⚠注意

安定した風通しの良い場所に置く
置き場所や置き方が悪いと、落下によるけが、内部温度の上昇による発火やけが、感電の原因となることがあります。
・ぐらつく台や傾いた台、毛足の長い絨毯や布団等の不安定なところに置かない。
・湿気やほこりの多い場所、湿気や油煙が当たるところに置かない。
・暖房器具のそばや、直射日光が当たる場所等、高温になるところに置かない。
・布をかけたり、密閉したラック等の中に入れない。
・振動の強い場所に置かない。
・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所に置かない。
・極端に高温、低温、温度変化の激しい場所に置かない。

安全のため家庭用コンセントより電源コードのプラグを抜く
旅行等でしばらく使わない場合やお手入れをする場合、本機を移動させる場合は火災や感電の思わぬ事故を防ぐため、電源コードのプラグを抜いてください。

温度が高くなる場所に放置しない
暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。本体や部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、感電の危険や加熱等により火災の原因となります。

ディスク挿入口に手を入れない
けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

機器の上に乗らない
倒れたり壊れたりしてけがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

付属品をご確認ください

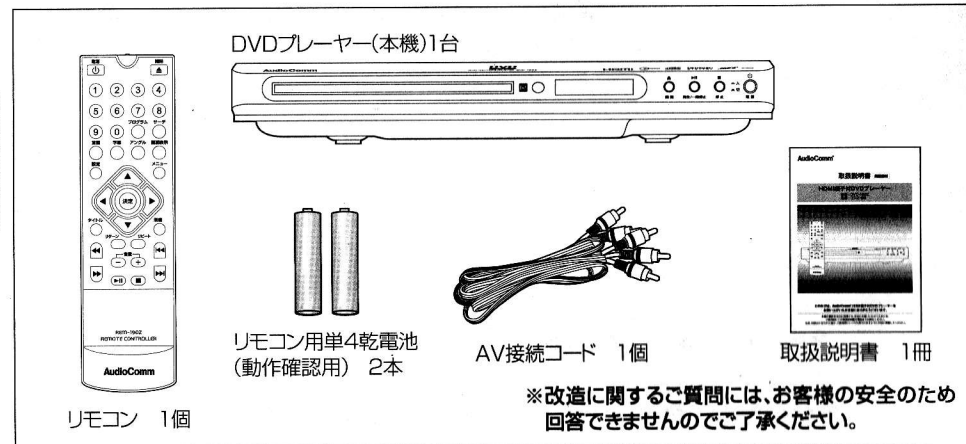
リモコン　1個

DVDプレーヤー（本機）1台

リモコン用単4乾電池（動作確認用）　2本

AV接続コード　1個

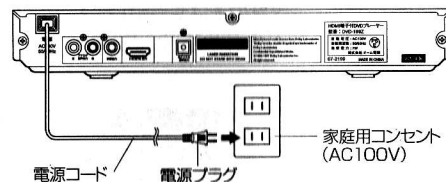
取扱説明書　1冊

※改造に関するご質問には、お客様の安全のため回答できませんのでご了承ください。

電源について

必ず家庭用電源でご使用ください

●電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます。

●本機を長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。

電源プラグを抜き差しするときは、必ず本体の電源を切ってから行ってください

ご使用前のご注意

◇本機は、停止状態が約20分間続くと、自動的にスタンバイモードになります。

◇本機にディスクをセットすると自動的に読み込みを開始し、画面にタイトルなどが表示されます。自動再生せずに静止画を表示し続けると、CRTモニターが画像焼けを起こし、ダメージとなることがありますので、再生／一時停止ボタンを押して画像を動画にしてください。静止画状態の場合、自動的に約3分でスクリーンセーバーモードに入ります（セットアップメニューの画面を除く）。

◇音量調整は接続機器の方を主に調整してください。本機の音量レベル（0～16）を上げ過ぎると、過大入力により音声信号が歪むことがあります。そのようなときは、音量レベルを下げてください。

◇DVDではチャプターとチャプターの間、CDでは曲と曲の間に、映像や音が途切れる場合がありますが、故障ではありません。

◇本取扱説明書内の本機画面のイラスト（マークや文字、それらの表示位置、内容など）が、再生するディスクによって一部異なる場合があります。

◇キズ、汚れ、ディスク作成時の状態などによって、ディスクが正しく読み込めない場合があります。その場合は「破損ディスク」等と画面に表示され、ディスクの読み込みは自動的に停止されます。

ご使用になる前に

再生可能ディスク

本機で再生可能なディスクは以下の通りです。

	ディスクマーク	記録内容	ディスクサイズ
DVD DISC お客様が作成したDVD DISCは再生できない場合があります。	DVD VIDEO	映像＋音声（主に映画）	12cm
AUDIO CD ミュージックCD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声（音楽）	12cm
			8cm（シングルCD）
MP3 CD	MP3	音声（音楽）	12cm

本機で再生可能なディスクは、直径12cmのDVDと直径8／12cmのオーディオCD、MP3、JPEGのみです。これらのディスク以外は再生できません。

本機ではCPRM対応のDVD-R、DVD-RWディスクを再生することができます。

※読み込みの時間が約30秒かかります。

CPRMとは?

・CPRMとは、コピー制限のあるテレビ番組を記録するときに使われている著作権保護技術のことです。
デジタル放送は著作権保護のためにコピー制限（例：「ダビング10」＝録画した番組を、他のデジタル機器に9回までコピー（ダビング）することが可能で、10回目はムーブ※（移動）のみ可能。すべての番組がダビング10で放送されているわけではありません）があります。DVDに番組を記録する場合は、CPRMに対応しているDVDレコーダー（HDD搭載モデルを含む）とCPRMに対応したDVDメディアを使うことで初めてコピー制限のある放送をDVDメディアに録画することができるようになります。
また、再生機器もCPRMに対応している必要があり、CPRM対応DVDメディアに記録した映像を他のDVDプレーヤーで再生する場合は、CPRM対応製品である必要があります。本機はCPRM対応製品です。

※他のデジタル機器やメディアにコピーすると、元映像が消去され、画像が移動したかのように見えるので、これを「ムーブ」と呼んでいます。

コピー制限の著作権保護がかけられたデジタル放送は、VRモードでしかメディアに記録できません。

ビデオモード、VRモードとは?

ビデオモード、VRモードとは、ともにDVDディスクの記録方式のことで、次の違いがあります。

ビデオモード	市販の映画ソフトなどの「DVDビデオ」に似た記録方式で、いろいろなDVD機器で再生することを目的としたモードです（互換性＝高）。
VRモード	ビデオレコーディングモードの略で主にディスク内で編集するためのモードです。

DVDにおいてはCPRMへの対応はVRモードしか認められていないため、結果的にCPRMに対応しているDVDメディアは必ずVRモードにも対応していることになります。

DVD-R/DVD-RW VRモード

本書中で右の表示があった場合は、VRモードで記録されたDVD-R/DVD-RWディスクを本機で再生するときにも使用できる機能を示しています。

●現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク（CD）規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証はいたしかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。なお、「コピーコントロールCD」の詳細については、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

●本機はDVDビデオフォーマットに準拠したマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。

マークはDVDビデオディスクの統一マークです。

マークは音楽用CDの統一マークです。

本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。DOLBY・ドルビー・およびダブルDマークはドルビーラボラトリーズの商標です。DVDは商標です。

リージョンコード（国番号）について

本機のリージョンコードは「2」です。この番号は日本を含めたヨーロッパ、南アフリカに割り当てられた番号で、DVDディスクの規格です。ディスクをお買い上げの際は、このリージョンコードを確認してください。「ALL」と「2」（または「2」を含むもの）が表示されたディスクの再生が可能です。

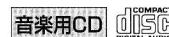
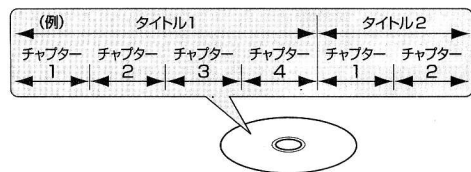
（例）

このマークはDVDビデオディスクまたはパッケージに印刷されています。

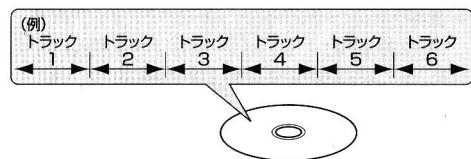
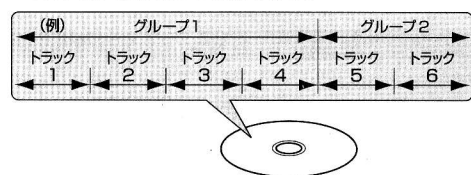
ご使用になる前に(つづき)

ディスクの構成について

DVD

DVDビデオディスクは「タイトル」と「チャプター」に区切り構成されています。
・「タイトル」とは、例えば複数の映画が入っているDVDビデオディスクで各映画ごとを指します。
・「チャプター」とは、タイトルをさらに細かく分けたものです。

音楽用CD

音楽用CDは、「トラック」で区切られて構成されています。
・「トラック(ファイル)」とは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとを指します。

CD-R/CD-RW(JPEGファイル形式)

JPEGファイル形式のデータは「グループ(フォルダ)」と「トラック(ファイル)」に区切られて構成されています。
・「トラック(ファイル)」とは、例えば複数の写真を収めたCD内の、一枚一枚の写真を指します。
・「グループ(フォルダ)」とは、いくつかのトラック(ファイル)をまとめたものを指します。

著作権について

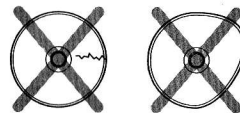
ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律で禁止されています。

再生できないディスク

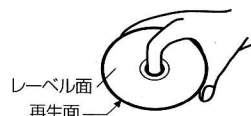
下記のディスクは再生できません。

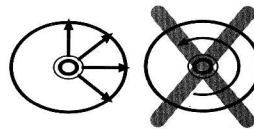
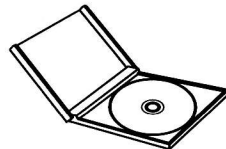
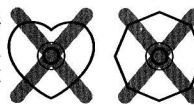
- リージョンコードが「2」「ALL」以外のDVD
- DVD-ROM
- CD-ROM
- Video-CD
- DVD-RAM
- DVD-Audio
- PD
- BD(ブルーレイディスク)
- HD DVD
- CD-R/CD-RW(音楽データ以外のもの)
- CD-I
- CD-G(CDグラフィクス)
- CVD
- SACD(ハイブリッドディスクで通常のオーディオCD層に記録された音は再生することができます。スーパーオーディオCD層に記録された音は再生することができません)
- フォトCD・WMAが記録されたCDなど
- 特殊な形状のディスク(ハート形など:故障の原因となります)

※8cmアダプター(音楽用CD用)は使わないでください。故障の原因となります。
※記録領域が少ないディスク(直径55mm以下)は再生できない場合があります。
※ファイナライズ済みのCD-R、CD-RWディスクの再生は可能ですが、書き込みスピード、書き込みソフト、メディアの質などにより読み込めないことがあります。必ずCD-DA規格で、そしてMP3、JPEGのいずれかのフォーマットで書き込んでください。
※ファイナライズ済みのDVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RWディスクの再生は、一般的な範囲で使用可能です。書き込みソフト、編集方法、メディアの質などによりさらに再生の確率が低下することがあります。必ずDVD VIDEO規格で書き込みファイナライズ処理を行ってください。
※DTS(Digital Theater Systems)でのみ録音されているディスクは再生できません。

ディクス使用上での注意点

ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。
再生中、ディスクはプレイヤー内で高速回転しています。ひびや割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

ディスク取扱い上の注意

- 再生面に触れないように持ってください。

- 再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

- ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽く拭き取ってください。

- 長い時間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

ご注意
ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。

テレビ(映像モニター)システムについて

本機の映像信号出力は、日本のカラーテレビ方式NTSCにセットされています。

- 本機はACを主電源とする一般家庭用の電気製品規格で生産されています。
- 正規のご使用方法以外で故障した場合、保証期間中でも有償修理とさせていただくことがあります。
- DVDプレーヤーはコンピュータに制御されている精密機械です。静電気や外部電波の影響を受け制御されなくなることがあります。そのような場合には、電源を完全に切り、しばらくしてから再投入してください。

セットアップメニューの注意点

映像方式の設定(P.19)において、工場出荷時(初期設定)は「NTSC」になっています。「PAL」に切り換えると画面が上下に流れ続けて、元に戻すことが困難になる場合があるので、絶対に変更しないでください。
※「PAL」は日本国外で使用する場合の設定です。
※本機は日本国内でのみ使用可能です。

結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態でご使用になると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して、数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

規格

本取扱説明書はDVDの基本的な説明をしています。DVDは規格によって生産、販売されており、使い方を間違えると操作に反応しないことがあります。使い方を間違えないよう本書をよく読んでいただくことが重要です。再生中、操作ボタンを押すと、⃠ のマークが表示されることがあります。そのようなとき、その操作は本機またはDVDディスクによって無効を意味しています。

無効マーク

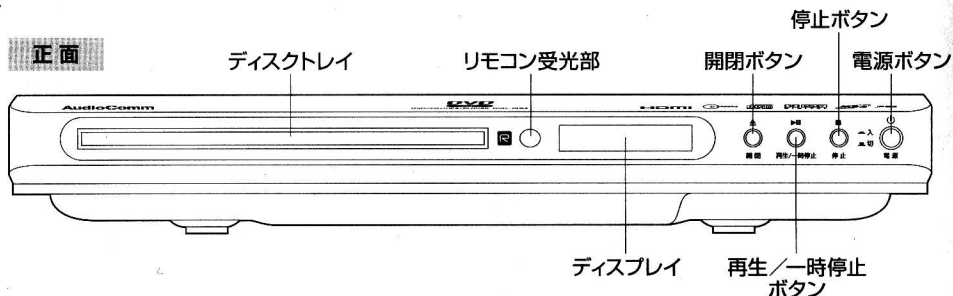
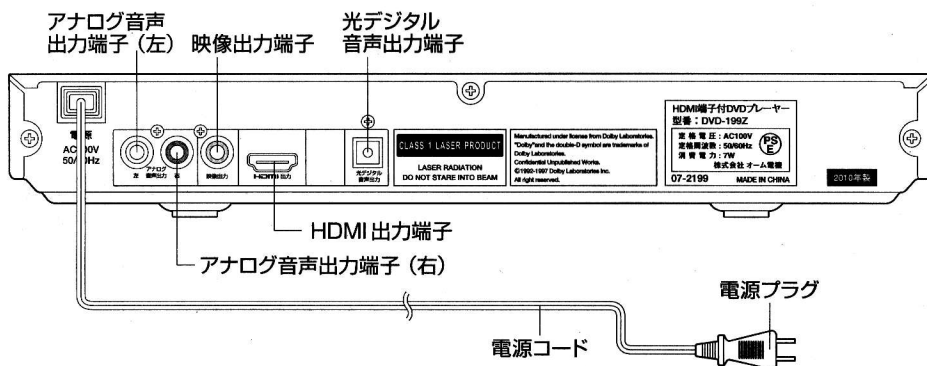
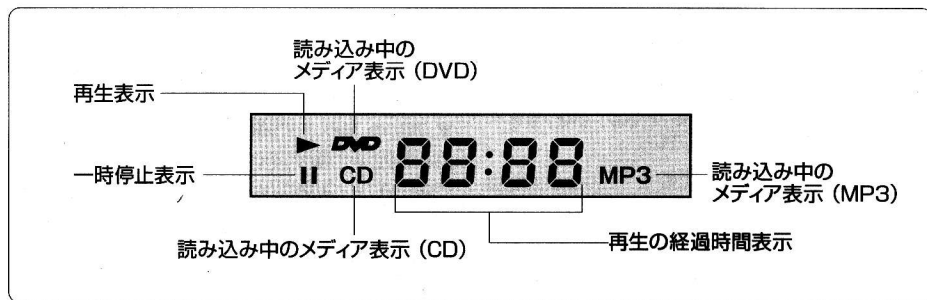
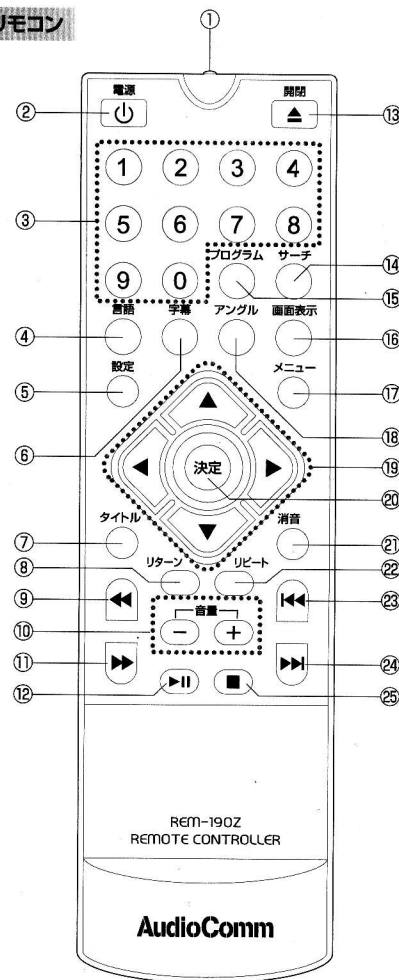
- ボタンを押し、無効マークが出たら、その時点での操作は無効です。画面が変わるか、時間をおいて再操作してください。
- DVD以外のディスクでは操作に制限があります。

本書で使用している画面表示の図版について

画面表示の説明で使用している図版は、分かりやすくするため簡略化しており、実際のものとは異っております。あらかじめご了承ください。

各部の名称

正面

停止ボタン
ディスクトレイ　リモコン受光部　開閉ボタン　電源ボタン
ディスプレイ　再生／一時停止ボタン

背面

ディスプレイの表示

リモコン

①**信号送信部**
この部分を本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

②**電源ボタン**
電源の入／切を行います。

③**数字ボタン**
数字を入力するときに使います。

④**言語ボタン**
お好みの音声言語を選択します（対応ディスクのみ）。

⑤**設定ボタン**
セットアップメニューを表示します。

⑥**字幕ボタン**
字幕を切り換えます（対応ディスクのみ）。

⑦**タイトルボタン**
タイトルメニューを表示します（対応ディスクのみ）。

⑧**リターンボタン**
再生中に押すと、タイトルメニューを表示します。もう一度押すと、押す前の場面から再生します（対応ディスクのみ）。

⑨**早戻しボタン**
早戻しをします。押すたびに戻すスピードが早くなります。

⑩**音量ボタン**
出力される音量を調節します。

⑪**早送りボタン**
早送りをします。押すたびに送るスピードが早くなります。

⑫**再生／一時停止ボタン**
再生を開始します。再生中に押すと、一時停止になり、もう一度押すと再生を再開します。

⑬**開閉ボタン**
ディスクトレイを開閉します。

⑭**サーチボタン**
観たい場面を指定して再生するときに使います。

⑮**プログラムボタン**
ディスクの内容を好みの順番で再生したいときに使います（DVD 時のみ使用）。

⑯**画面表示ボタン**
再生しているディスクの情報を表示します。表示内容はディスクにより異なります。

⑰**メニューボタン**
タイトルメニューを表示します。

⑱**アングルボタン**
アングルを切り換えます（対応ディスクのみ）。

⑲**カーソルボタン（▲▼▶◀）**
画面に表示されている項目を選択する場合など、カーソルを移動させるときに使います。

⑳**決定ボタン**
選択を確定させるときに押します。

㉑**消音ボタン**
一時的に音声を消します。もう一度押すと元に戻ります。

㉒**リピートボタン**
繰り返し再生をします。

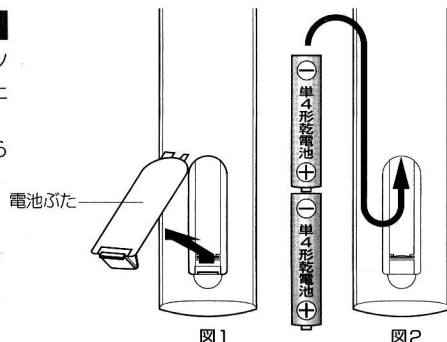
㉓**スキップボタン（－）**
再生中または一時停止中に押すと、一つ前のチャプター（トラック）に戻って再生を始めます。

㉔**スキップボタン（＋）**
再生中または一時停止中に押すと、次のチャプター（トラック）にジャンプして再生を始めます。

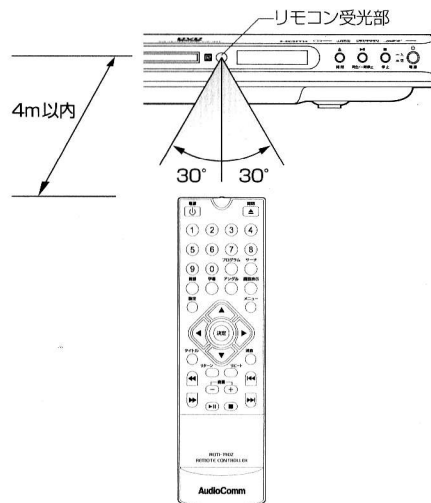
㉕**停止ボタン**
再生を中止します。

リモコンの使い方

リモコンに電池を入れる

1. リモコン背面の電池ぶたを外します（ふた下部のツメを、図1に示した矢印の方向に押しながら引き上げると、ふたが外れます）。
2. 付属の単4形乾電池を極性（⊕⊖）に注意しながら図2のように2本続けて入れます。
3. 電池ぶたを元通りにしっかりと閉めます。

リモコンによる操作

- リモコンの信号送信部を本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 使用範囲は、本機のリモコン受光部から上下左右30度以内、4m以内です。障害物があるとリモコンによる操作ができなくなったり、使用範囲がさらに狭くなることがあります。
- 直射日光が当たる場所での使用は避けてください。誤作動したり、操作できなくなることがあります。

リモコン受光部
4m以内
30° 30°

ご注意

リモコンは暖房器具付近、ダッシュボードの上、座席の上、ヒーターの噴出し口付近など高温になる場所や、直射日光の当たる場所に置かないでください。変形、動作不良、故障の原因になります。

※他社製品を動作／作用させる可能性がありますのでご注意ください。

乾電池についての安全上のご注意

使い方を誤ると、液漏れ、発熱、発火、破裂などにより、やけどや大けが、失明の原因になります。

⚠警告

- **乾電池が液漏れしたとき**
  万一液が漏れたら、液をよく拭き取る。液が皮膚や衣服に付着した場合は、多量の水で洗い流してください。
  液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談してください。
- 機器の表示に合わせて⊕と⊖を正しく入れてください。
- 充電しないでください。
- 火の中に入れないでください。
- ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
- 火のそばや直接日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
- 水などで濡らさないでください。風呂場などの湿気の多いところで使わないでください。

⚠注意

- 使いきった電池は取り外してください。また長時間使用しないときは取り外してください。
- 新しい電池と古い電池、種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 電池を携帯、保管するときは、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒にしないでください。ショートしたり、液漏れして損傷する原因となります。

使用済み乾電池を廃棄するとき

使用済みの乾電池は、各自治体の条例に従って廃棄してください。

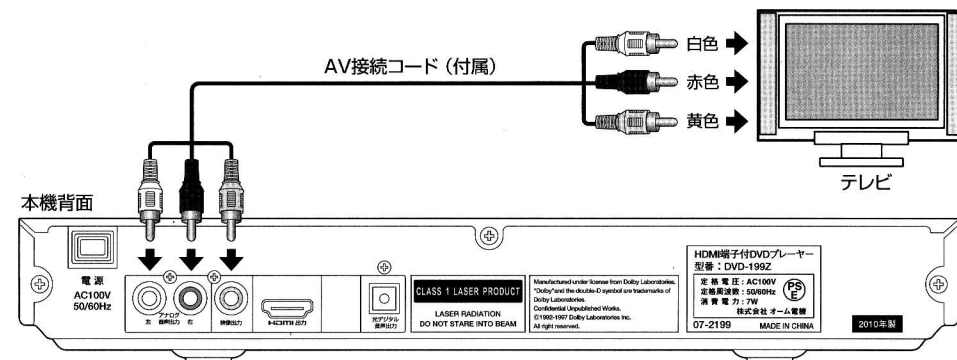
テレビとの接続方法

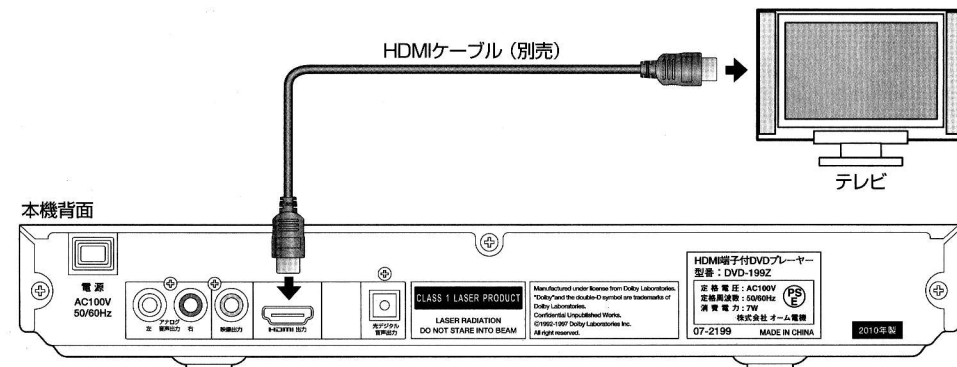
ご注意

- 接続するときは、必ずそれぞれの機器の電源を切って行ってください。
- 接続する外部機器の電源は別途配線してください。
- 使用するときは、必ず外部機器の電源を先に入れてください。
- 接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく接続してください。
- HDMIケーブルで接続し、HD解像度（P.21）を高く設定した場合でも、テレビやDVDディスクの規格等により、設定通りの再生ができないことがあります。

AV接続コード（付属）で接続する場合

付属のAV接続コードを使って、赤色（右）・白色（左）・黄色（映像）のプラグを、本機背面の端子（アナログ音声出力端子・左右　映像出力端子）とテレビ側のビデオ入力端子（音声左・音声右・映像）に、それぞれ接続します。

- 赤色のプラグは、本機、テレビ双方の音声右用端子（赤色の端子）に接続します。
- 白色のプラグは、本機、テレビ双方の音声左用端子（白色の端子）に接続します。
- 黄色のプラグは本機、テレビ双方の映像用端子（黄色の端子）に接続します。

HDMIケーブル（別売）で接続する場合

HDMIケーブル（別売）を使って、本機背面のHDMI出力端子とテレビ側のHDMI入力端子を接続します。

ヒント

ワイドテレビに接続した場合は、セットアップメニューの設定で、ビデオ>アスペクト比に進み、「16：9」に設定してください。

オーディオ機器との接続方法

映像をテレビ(モニター)で映し、音声をオーディオ機器で聴く場合

【音声に関する接続】

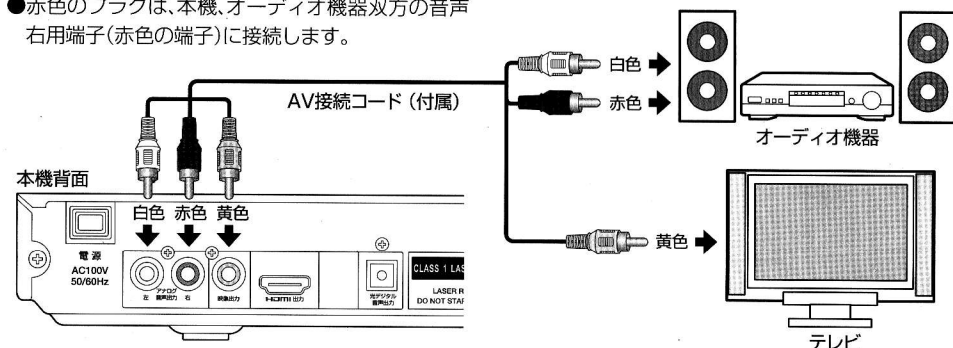
2チャンネルのオーディオ機器で聴く場合

AV接続コードを使って、赤色(右)と白色(左)のプラグを、本機のアナログ音声出力端子とオーディオ機器の音声入力端子にそれぞれ接続します。

●白色のプラグは、本機、オーディオ機器双方の音声左用端子(白色の端子)に接続します。

●赤色のプラグは、本機、オーディオ機器双方の音声右用端子(赤色の端子)に接続します。

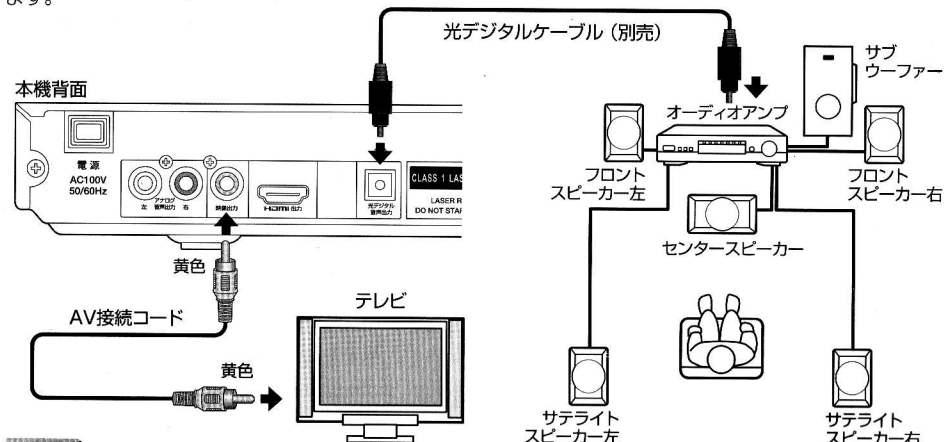
【映像に関する接続】

AV接続コード(黄色のプラグ)を使って、本機の映像出力端子(黄色)とテレビまたはモニターの映像入力端子(黄色)にそれぞれ接続します。

映像をテレビ(モニター)で映し、音声をドルビーデジタルシステム(5.1ch)対応機器で聴く場合

【音声に関する接続】

光デジタルケーブル(別売)を、本機の光デジタル音声出力端子と、ドルビーデジタルシステム(5.1ch)対応オーディオ機器の光デジタル音声入力端子に接続します。

【映像に関する接続】

AV接続コード(黄色のプラグ)を、本機の映像出力端子(黄色)とテレビまたはモニターの映像入力端子(黄色)にそれぞれ接続します。

ヒント

5.1chとは、視聴者を囲むように設置された6つのスピーカーによって、音を再生する音響システム構成のことです。音の立体感が増し、臨場感にあふれた音響効果を楽しむことができます。前方正面、前方左右、後方左右のスピーカー、そして低音を強化するサブウーファーという6本のスピーカーで構成されます。このサブウーファーは低音のみを再生するため0.1チャンネルとカウントされ、合計で5.1チャンネルとなります。

セットアップメニューの概要 セットアップメニューの操作はすべてリモコンで行います。

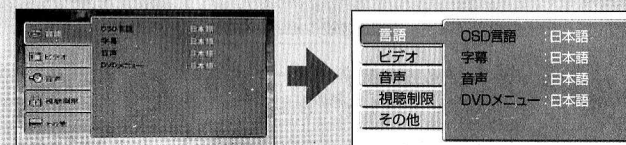
映像・音声の出力方式や、DVD、AUDIO CD、MP3の再生に関する様々なオプションの設定ができます。

ご注意

●セットアップメニューの設定はディスクをセットしない状態で行ってください。ディスクをセットした状態では、一部の項目の設定ができません。

●ディスク再生中にセットアップメニューの設定を行った場合、設定終了後はトップ画面に戻らず、自動的に再生が再開されます。

●ディスクによっては記録されている内容が異なりますので、設定できない項目があります。

セットアップメニューの画面表示の説明で使用している図版は、分かりやすくするため、右図のように簡略化した図版で示しています。

実際の表示例

設定一覧

【言語】に関する設定	掲載ページ	概要	設定可能項目
OSD言語	P.16	テレビに表示される各種情報(On Screen Display)の言語を設定します。	・英語 ・日本語
字幕	P.16	字幕表示のオン/オフ、オン時の表示言語を設定します。	・英語 ・日本語 ・オート ・オフ
音声	P.17	音声の出力言語を設定します。	・英語 ・日本語
DVDメニュー	P.17	DVDメニューの表示言語を設定します。	・英語 ・日本語

【ビデオ】に関する設定	掲載ページ	概要	設定可能項目
アスペクト比	P.18	出力映像のアスペクト比を設定します。	・4:3 ・16:9
ビューモード	P.18	映像の表示モードを設定します。	・フル ・オリジナル ・オートフィット ・パンスキャン
TVシステム	P.19	テレビ方式を設定します。	・NTSC ・PAL ・オート
ピクチャ	P.20	映像の色調を調節します。	・標準 ・明るく ・暗く ・調整
HD解析度	P.21	映像の細かさを設定します。	・オート ・480p/576p ・720p ・1080i ・1080P

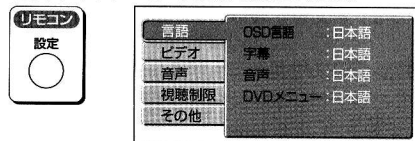
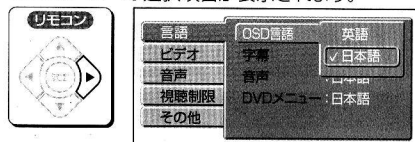
【音声】に関する設定	掲載ページ	概要	設定可能項目
デジタル出力	P.21	音声のデジタル出力方式を設定します。	・SPDIF/オフ ・SPDIF/PCM ・SPDIF/RAW

【視聴制限】に関する設定	掲載ページ	概要	設定可能項目
パレンタルロック	P.22	DVDソフトの視聴制限レベルを設定します。	・1.Kid Safe ・2.G ・3.PG ・4.PG-13 ・5.PG-R ・6.R ・7.NC-17 ・8.Adult
パスワード設定	P.23	パスワードの設定/変更を行います。	※パスワード入力画面へ

【その他】の設定	掲載ページ	概要	設定可能項目
初期設定	P.24	本機の設定内容を破棄し、工場出荷段階に戻します。	※確認画面へ
スクリーンセーバー	P.24	スクリーンセーバーのオン/オフを設定します。	・オフ ・オン

OSD言語の設定方法

テレビに表示される各種情報(On Screen Display)の言語を設定します。

❶ 設定ボタンを押す
セットアップメニュー画面が表示されます。

❷ カーソルボタン(▶)を2回押す
OSDメニューの選択項目が表示されます。

現在選択されている項目がカーソル(囲み枠)で表示されます。

❸ カーソルボタン(▲/▼)で表示したい言語を選び、決定ボタンを押す

項目	内容
英語	英語で表示します。
日本語	日本語で表示します。

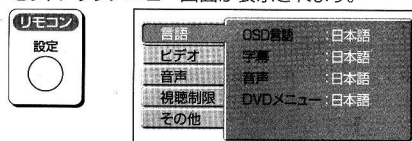
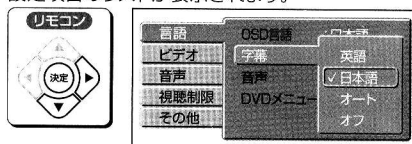
英語を選択した場合は、メニュー表示が英語に切り換わります。

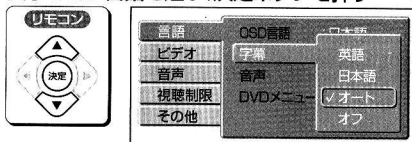
❹ 設定ボタンを押してセットアップメニューを終了する

トップ画面に戻ります。再生中にセットアップメニューに進んだ場合は、元の場面から再生を再開します。

字幕の設定方法

字幕表示のオフ、オン時の表示言語を設定します。
※字幕設定のないディスクの場合は、この機能を有効にしても、字幕は表示されません。

❶ 設定ボタンを押す
セットアップメニュー画面が表示されます。

❷ カーソルボタン(▶)を押した後、カーソルボタン(▼)で【字幕】を選び、カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す
設定項目のリストが表示されます。

現在選択されている項目がカーソル(囲み枠)で表示されます。

❸ カーソルボタン(▲/▼)で表示したい言語を選び、決定ボタンを押す

項目	内容
英語	ディスクに収録されている英語の字幕が表示されます。
日本語	ディスクに収録されている日本語の字幕が表示されます。
オート	ディスクに収録されている字幕を自動で判別して表示します。
オフ	字幕表示をオフにします。

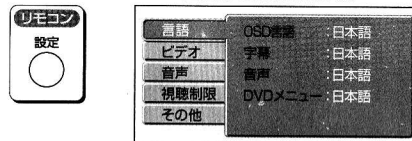
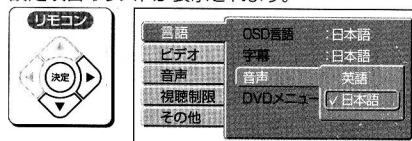
決定ボタンを押すと一つ前の画面に戻り、新しく設定された内容を確認できます。

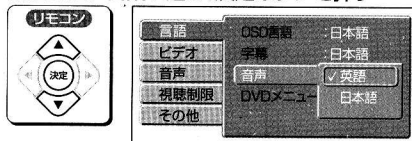
❹ 設定ボタンを押してセットアップメニューを終了する

トップ画面に戻ります。再生中にセットアップメニューに進んだ場合は、元の場面から再生を再開します。

音声の設定方法

音声の出力言語を設定します。
※多重音声設定のないディスクの場合は、この機能を有効にしても、音声の切換えはできません。

❶ 設定ボタンを押す
セットアップメニュー画面が表示されます。

❷ カーソルボタン(▶)を押した後、カーソルボタン(▼)で【音声】を選び、カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す
設定項目のリストが表示されます。

現在選択されている項目がカーソル(囲み枠)で表示されます。

❸ カーソルボタン(▲/▼)で設定したい言語を選び、決定ボタンを押す

項目	内容
英語	英語音声を出力します。
日本語	日本語音声を出力します。

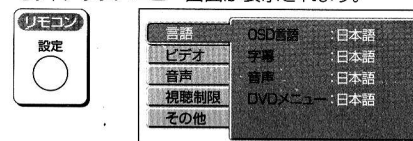
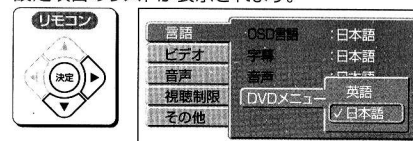
決定ボタンを押すと一つ前の画面に戻り、新しく設定された内容を確認できます。

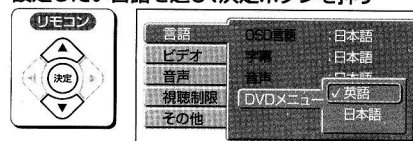
❹ 設定ボタンを押してセットアップメニューを終了する

トップ画面に戻ります。再生中にセットアップメニューに進んだ場合は、元の場面から再生を再開します。

DVDメニューの設定方法

DVDメニューの表示言語を設定します。
※DVDディスクに多言語設定がない場合は、この機能を有効にしても、機能しません。

❶ 設定ボタンを押す
セットアップメニュー画面が表示されます。

❷ カーソルボタン(▶)を押した後、カーソルボタン(▼)で【DVDメニュー】を選び、カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す
設定項目のリストが表示されます。

現在選択されている項目がカーソル(囲み枠)で表示されます。

❸ カーソルボタン(▲/▼)で設定したい言語を選び、決定ボタンを押す

項目	内容
英語	英語で表示します。
日本語	日本語で表示します。

決定ボタンを押すと一つ前の画面に戻り、新しく設定された内容を確認できます。

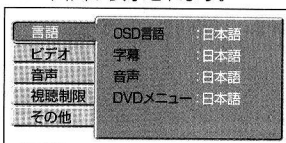
❹ 設定ボタンを押してセットアップメニューを終了する

トップ画面に戻ります。再生中にセットアップメニューに進んだ場合は、元の場面から再生を再開します。

ヒント 途中でセットアップメニュー操作を中止するには設定ボタンを押します。

アスペクト比の設定方法

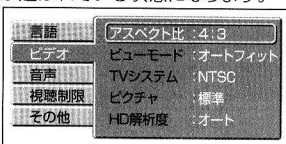
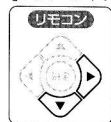
出力映像のアスペクト比を設定します。

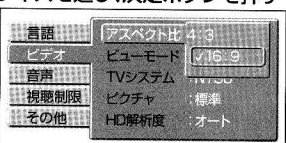
1 設定ボタンを押す
セットアップメニュー画面が表示されます。

言語 ビデオ 音声 視聴制限 その他
OSD言語 :日本語
字幕 :日本語
音声 :日本語
DVDメニュー:日本語

2 カーソルボタン(▼)を押して【ビデオ】を選び カーソルボタン(▶)を押す
【アスペクト比】が選ばれている状態になります。

言語 ビデオ 音声 視聴制限 その他
アスペクト比 :4:3
ビューモード :オートフィット
TVシステム :NTSC
ピクチャ :標準
HD解析度 :オート

3 カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す
設定項目のリストが表示されます。

言語 ビデオ 音声 視聴制限 その他
アスペクト比 ✓4:3
ビューモード 16:9
TVシステム
ピクチャ :標準
HD解析度 :オート

現在選択されている項目がカーソル(囲み枠)で表示されます。

4 カーソルボタン(▲/▼)で 設定する画面サイズを選び、決定ボタンを押す

項目	内容
4:3	従来型テレビの場合
16:9	液晶テレビなどワイド画面のテレビ

5 設定ボタンを押して セットアップメニューを終了する

トップ画面に戻ります。再生中にセットアップメニューに進んだ場合は、元の場面から再生を再開します。

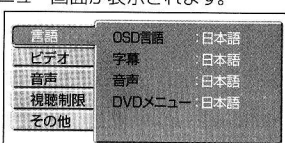
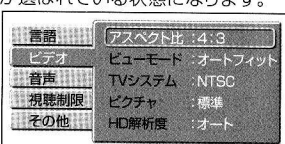
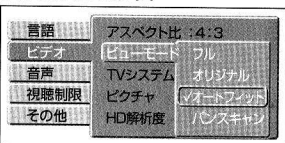
ビューモードの設定方法

映像の表示モードを設定します。

1 設定ボタンを押す
セットアップメニュー画面が表示されます。

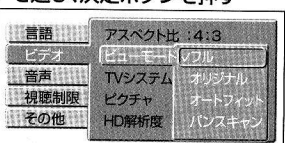
言語 ビデオ 音声 視聴制限 その他
OSD言語 :日本語
字幕 :日本語
音声 :日本語
DVDメニュー:日本語

2 カーソルボタン(▼)を押して【ビデオ】を選び カーソルボタン(▶)を押す
【アスペクト比】が選ばれている状態になります。

言語 ビデオ 音声 視聴制限 その他
アスペクト比 :4:3
ビューモード :オートフィット
TVシステム :NTSC
ピクチャ :標準
HD解析度 :オート

3 カーソルボタン(▼)を押して 【ビューモード】を選び、 カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す
設定項目のリストが表示されます。

言語 ビデオ 音声 視聴制限 その他
アスペクト比 :4:3
ビューモード フル
TVシステム オリジナル
ピクチャ ✓オートフィット
HD解析度 パンスキャン

現在選択されている項目がカーソル(囲み枠)で表示されます。

4 カーソルボタン(▲/▼)で 設定するモードを選び、決定ボタンを押す

言語 ビデオ 音声 視聴制限 その他
アスペクト比 :4:3
ビューモード ✓フル
TVシステム オリジナル
ピクチャ オートフィット
HD解析度 パンスキャン

5 設定ボタンを押して セットアップメニューを終了する

トップ画面に戻ります。再生中にセットアップメニューに進んだ場合は、元の場面から再生を再開します。

※映像の端(上下または左右)が切れたりする場合がありますので、お手持ちのテレビに合わせて設定してください。
※この機能はDIVXディスクのみ対応します。

項目	内容
フル	ワイドテレビでワイドスクリーン映像をご覧になる時に適したモードです。
オリジナル	従来型テレビでワイドスクリーン映像をご覧になると、画面の上下左右に黒い枠が出ます。
オートフィット	従来型テレビでワイドスクリーン映像をご覧になると、画面の上下に黒い枠が出ます。
パンスキャン	ワイドテレビでワイドスクリーン映像をご覧になるための通常モードです。

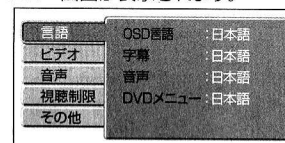
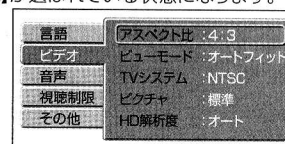
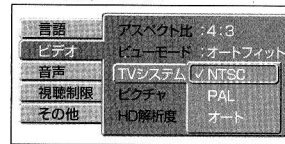
TVシステムの設定方法

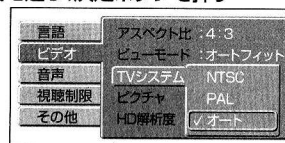
テレビ方式を設定します。
※日本のテレビ方式はNTSCです。必要がない限り変更しないでください。
※本機は日本国内でのみ使用可能です。

1 設定ボタンを押す
セットアップメニュー画面が表示されます。

言語 ビデオ 音声 視聴制限 その他
OSD言語 :日本語
字幕 :日本語
音声 :日本語
DVDメニュー:日本語

2 カーソルボタン(▼)を押して【ビデオ】を選び カーソルボタン(▶)を押す
【アスペクト比】が選ばれている状態になります。

言語 ビデオ 音声 視聴制限 その他
アスペクト比 :4:3
ビューモード :オートフィット
TVシステム :NTSC
ピクチャ :標準
HD解析度 :オート

3 カーソルボタン(▼)を押して 【TVシステム】を選び、 カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す
設定項目のリストが表示されます。

現在選択されている項目がカーソル(囲み枠)で表示されます。

4 カーソルボタン(▲/▼)で 設定する方式を選び、決定ボタンを押す

決定ボタンを押すと、一時的に画面が消え、再度立ち上がります。

5 設定ボタンを押して セットアップメニューを終了する

トップ画面に戻ります。再生中にセットアップメニューに進んだ場合は、元の場面から再生を再開します。

ご注意 「PAL」に切り換えると画面が上下に流れ続けて、元に戻すことが困難になりますので、絶対に変更しないでください。
※「PAL」は日本国外で使用する場合の設定です。

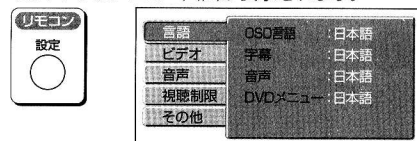
ヒント 途中でセットアップメニュー操作を中止するには設定ボタンを押します。

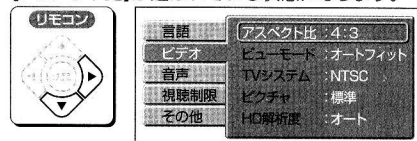
設定

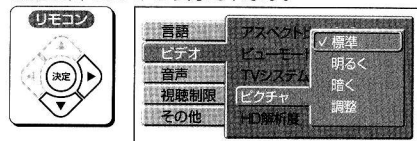
ピクチャの設定方法

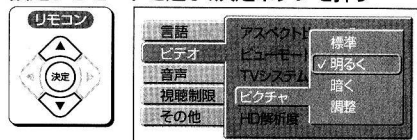
映像の色調を調節します。

❶ 設定ボタンを押す

セットアップメニュー画面が表示されます。

❷ カーソルボタン(▼)を押して【ビデオ】を選び カーソルボタン(▶)を押す

【アスペクト比】が選ばれている状態になります。

❸ カーソルボタン(▼)を押して 【ピクチャ】を選び、 カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す

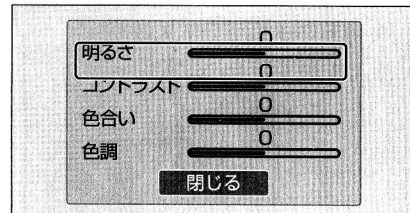
設定項目のリストが表示されます。

現在選択されている項目がカーソル(囲み枠)で表示されます。

❹ カーソルボタン(▲/▼)で 設定するモードを選び、決定ボタンを押す

項目	内容
標準	本機の初期設定が適用されます。
明るく	映像を明るく表示します。
暗く	映像を暗く表示します。
調整	この項目を選ぶと細かく設定できる子画面が表示されます。

【標準】、【明るく】、【暗く】を選んで決定ボタンを押すと、一つ前の画面に戻り、新しい設定値による色調を確認できます。

❺ 設定ボタンを押して セットアップメニューを終了する

トップ画面に戻ります。再生中にセットアップメニューに進んだ場合は、元の場面から再生を再開します。

ヒント ステップ4で【調整】を選んだときは

上のような小画面が表示されるので、カーソルボタン(▲/▼)で項目を選び、カーソルボタン(◀/▶)で数値を調節します。

子画面を閉じるときは【閉じる】にカーソルを合わせて決定ボタンを押します。

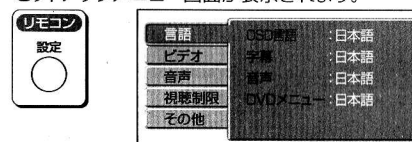
項目	内容
明るさ	映像の明るさを調節します。-20〜20の間で設定できます。
コントラスト	映像のコントラストを調節します。-16〜16の間で設定できます。
色合い	映像の色合いを調節します。-9〜9の間で設定できます。
色調	映像の色調を調節します。-9〜9の間で設定できます。

HD解析度の設定方法

映像の細かさを設定します。

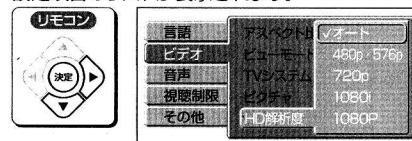
※数値が大きいほど緻密なデータを送出しますが、テレビやDVDディスクの規格等により、設定通りの再生ができない場合があります。

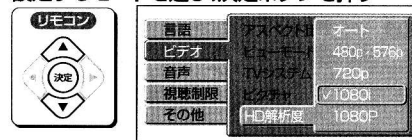
❶ 設定ボタンを押す

セットアップメニュー画面が表示されます。

❷ カーソルボタン(▼)を押して【ビデオ】を選び カーソルボタン(▶)を押す

【アスペクト比】が選ばれている状態になります。

❸ カーソルボタン(▼)を押して 【HD解析度】を選び、 カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す

設定項目のリストが表示されます。

現在選択されている項目がカーソル(囲み枠)で表示されます。

❹ カーソルボタン(▲/▼)で 設定するモードを選び、決定ボタンを押す

項 目	内 容
オート	テレビに合わせて自動設定します
480p/576p	480/576プログレッシブ方式
720p	720プログレッシブ方式
1080i	1080インターレース方式
1080P	1080プログレッシブ方式

❺ 設定ボタンを押して セットアップメニューを終了する

トップ画面に戻ります。再生中にセットアップメニューに進んだ場合は、元の場面から再生を再開します。

デジタル出力の設定方法

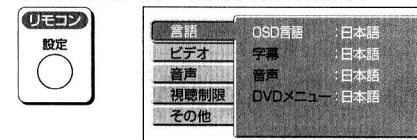
音声のデジタル出力方法を設定します。

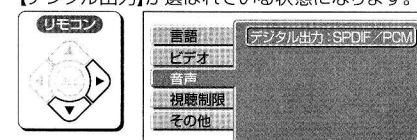
※【SPDIF/オフ】を選ぶとデジタル音声は出力されませんのでご注意ください。

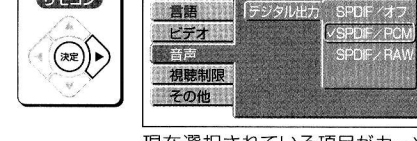
※正しくない設定でDVDディスクを再生すると音が歪み、スピーカーが壊れることがあります。

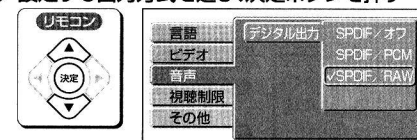
※配線等はP.14「オーディオ機器との接続方法」を参照してください。

❶ 設定ボタンを押す

セットアップメニュー画面が表示されます。

❷ カーソルボタン(▼)を押して【音声】を選び カーソルボタン(▶)を押す

【デジタル出力】が選ばれている状態になります。

❸ カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す

設定項目のリストが表示されます。

現在選択されている項目がカーソル(囲み枠)で表示されます。

❹ カーソルボタン(▲/▼)で 設定する出力方式を選び、決定ボタンを押す

項 目	内 容
SPDIF/オフ	デジタル音声は出力されません。
SPDIF/PCM	PCM形式で出力。ドルビーデジタルに対応していないアンプやデコーダに接続する場合に選択します。
SPDIF/RAW	RAW形式で出力。ドルビーデジタル対応アンプやデコーダに接続する場合に選択します。

❺ 設定ボタンを押して セットアップメニューを終了する

トップ画面に戻ります。再生中にセットアップメニューに進んだ場合は、元の場面から再生を再開します。

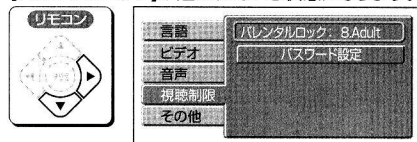
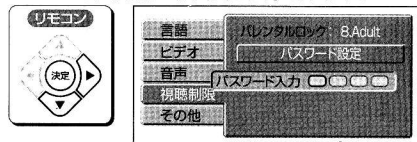
ヒント 途中でセットアップメニュー操作を中止するには設定ボタンを押します。

パレンタルロックの設定方法

ディスクに応じて視聴制限をかけることができます。
※この機能は適用ディスクのみ対応します。

1 設定ボタンを押す
セットアップメニュー画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▼)を押して【視聴制限】を選び カーソルボタン(▶)を押す
【パレンタルロック】が選ばれている状態になります。

言語 / ビデオ / 音声 / 視聴制限 / その他 / パレンタルロック：8.Adult / パスワード設定

3 カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す
パスワード入力用の子画面が表示されます。

4 表示された子画面に数字ボタンを使って パスワードを入力し、決定ボタンを押す
工場出荷時（初期設定）のパスワードは「5168」です。正しいパスワードが設定されるとステップ2の画面に戻ります。
パスワードを変更したい場合は、次項の「パスワード設定」を参照してください。

リモコン ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⓪

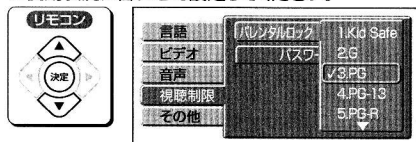
リモコン 決定

パスワード入力 ＊ ＊ □ □

- ●入力した数字は「*」で表示されます（数字は表示されません）。
- ●入力を修正するときはカーソルボタン（◀）を押してやり直してください。
- ●数字の入力を中断して他の操作をすると、再度パスワードの入力が必要になります。

5 カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す
設定項目のリストが表示されます。

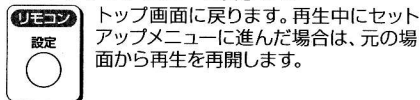
現在選択されている項目がカーソル（囲み枠）で表示されます。

6 カーソルボタン(▲／▼)で 設定したい項目を選び、決定ボタンを押す
ご使用状況に合わせて設定してください。

現在選択されている項目がカーソル（囲み枠）で表示されます。

項目	内容
1.Kid Safe	子供向け
2.G	制限なし
3.PG	親と一緒に子供視聴可能
4.PG-13	親と一緒に13歳以下視聴可能
5.PG-R	成人と一緒に視聴可能
6.R	親、成人と一緒に17歳以下視聴可能
7.NC-17	17歳以下は視聴不可
8.Adult	成人向け

7 設定ボタンを押して セットアップメニューを終了する

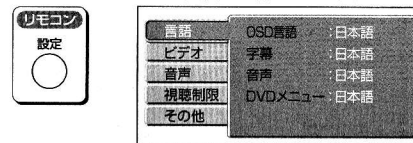
トップ画面に戻ります。再生中にセットアップメニューに進んだ場合は、元の場面から再生を再開します。

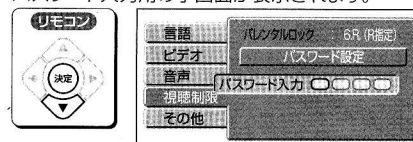
ヒント

- ●パレンタルロック（視聴制限）は、小さなお子様や低年齢層に対する不適切なDVDの再生を制限するものです。ディスクによって子供に見せたくないシーンをカットしたり、再生できなくするなど、視聴制限レベルが設定されているものがあります。本機は子供が設定を変えることのないよう、パスワードで設定を保護することができます。
- ●【Kid Safe】がもっとも制限が厳しく、子供向けDVDのみ視聴できます。【Adult】は制限が緩くなります。

パスワードの設定方法

パレンタルロックの設定に必要なパスワードの設定（変更）を行います。

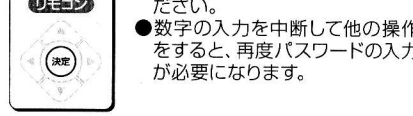
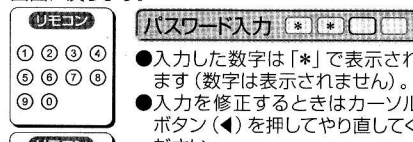
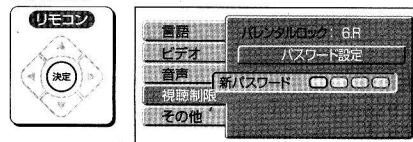
1 設定ボタンを押す
セットアップメニュー画面が表示されます。

言語 / ビデオ / 音声 / 視聴制限 / その他 / OSD言語 :日本語 / 字幕 :日本語 / 音声 :日本語 / DVDメニュー :日本語

2 カーソルボタン(▼)を押して【視聴制限】を選び カーソルボタン(▶)を押す
【パレンタルロック】が選ばれている状態になります。

3 カーソルボタン(▼)を押して【パスワード設定】を選び、決定ボタンを押す
パスワード入力用の子画面が表示されます。

4 表示された子画面に数字ボタンを使って 現在のパスワードを入力し、決定ボタンを押す
工場出荷時（初期設定）のパスワードは「5168」です。正しいパスワードが設定されると一つ前の画面に戻ります。

リモコン ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⓪

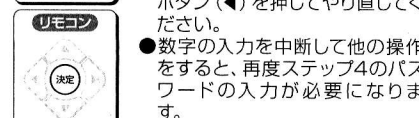
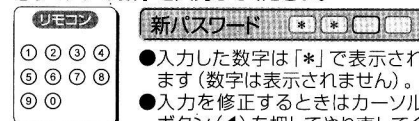
パスワード入力 ＊ ＊ □ □

- ●入力した数字は「*」で表示されます（数字は表示されません）。
- ●入力を修正するときはカーソルボタン（◀）を押してやり直してください。
- ●数字の入力を中断して他の操作をすると、再度パスワードの入力が必要になります。

5 もう一度、決定ボタンを押す
「新パスワード」と示された新しい子画面が表示されます。

6 表示された子画面に数字ボタンを使って 新しいパスワードを入力し、決定ボタンを押す
必ず4ケタの数字を入力してください。

リモコン ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⓪

リモコン 決定

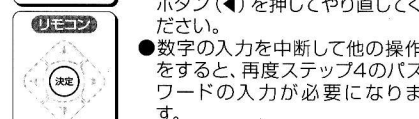
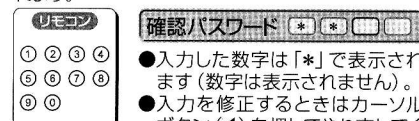
新パスワード ＊ ＊ □ □

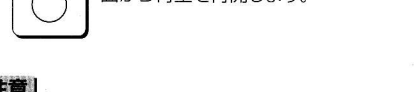
- ●入力した数字は「*」で表示されます（数字は表示されません）。
- ●入力を修正するときはカーソルボタン（◀）を押してやり直してください。
- ●数字の入力を中断して他の操作をすると、再度ステップ4のパスワードの入力が必要になります。

7 再入力確認画面があらわれるので もう一度新しいパスワードを 数字ボタンを使って入力し、決定ボタンを押す
ステップ6と同じ4桁の数字を入力してください。
正しく入力されると「パスワード設定完了」と表示されます。

リモコン ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⓪

リモコン 決定

確認パスワード ＊ ＊ □ □

- ●入力した数字は「*」で表示されます（数字は表示されません）。
- ●入力を修正するときはカーソルボタン（◀）を押してやり直してください。
- ●数字の入力を中断して他の操作をすると、再度ステップ4のパスワードの入力が必要になります。

8 設定ボタンを押して セットアップメニューを終了する

トップ画面に戻ります。再生中にセットアップメニューに進んだ場合は、元の場面から再生を再開します。

ご注意

- ●パスワードを忘れないようにご注意ください。
- ●万一忘れてしまったときのために、メモしておくことをお勧めします。
- ●設定したパスワードがパレンタルロックの設定で機能するかどうか確認してください。

変更日	パスワード

ヒント 途中でセットアップメニュー操作を中止するには設定ボタンを押します。

初期設定の方法

本機の状態を工場出荷時の状態に戻します。

設定ボタンを押す
セットアップメニュー画面が表示されます。

カーソルボタン(▼)を押して【その他】を選びカーソルボタン(▶)を押す
【初期設定に戻す】が選ばれている状態になります。

決定ボタンを押す
確認画面が表示されます。

カーソルボタン(◀)で【はい】を選び決定ボタンを押す
確認画面が表示されます。

5 初期化されトップ画面に戻る
トップ画面に戻るまでにしばらく画面が消える、時間がかかることがあります。

ご注意

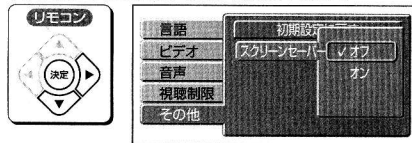
初期設定に戻すを行うと、それまでにお客様が設定した内容がすべて失われますので、十分ご注意ください。

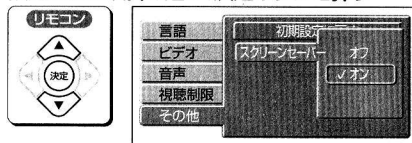
スクリーンセーバーの設定方法

テレビ(モニター)の画像焼けを防止するスクリーンセーバー機能のオン/オフを設定します。性能維持のためにもできるだけ【オン】の状態でご使用ください。

設定ボタンを押す
セットアップメニュー画面が表示されます。

カーソルボタン(▼)を押して【その他】を選びカーソルボタン(▶)を押す
【初期設定に戻す】が選ばれている状態になります。

カーソルボタン(▼)を押して【スクリーンセーバー】を選び、カーソルボタン(▶)または決定ボタンを押す
【オフ】【オン】の選択画面が表示されます。

現在選択されている項目がカーソル(囲み枠)で表示されます。

4 カーソルボタン(▲/▼)で設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

5 設定ボタンを押してセットアップメニューを終了する

トップ画面に戻ります。再生中にセットアップメニューに進んだ場合は、元の場面から再生を再開します。

ヒント

スクリーンセーバーが【オン】のときは、静止画状態が約3分続くと画面が消え、AudioCommのロゴが動きながら表示されます。

ご注意

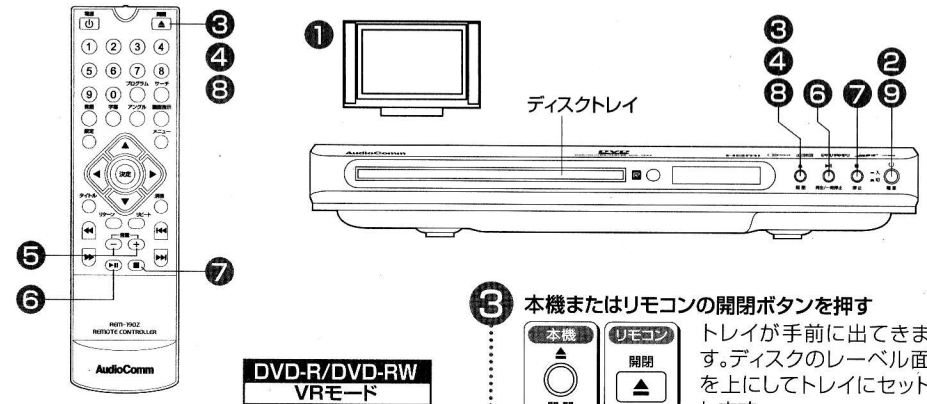
スクリーンセーバーの設定が【オン】であっても、セットアップメニューの操作中は機能しません。長時間、セットアップメニューのまま放置しないでください。

ヒント 途中でセットアップメニュー操作を中止するには設定ボタンを押します。

DVD再生時の基本操作 電源オン～再生～停止～電源オフ

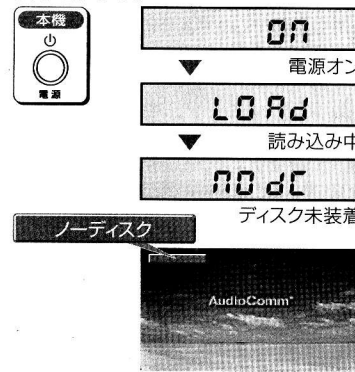
●本機は、DVD、オーディオCD、MP3CDディスクの再生ができます。
●規格以外の特殊なディスクは、再生できませんのでご注意ください。
●DTS(Digital Theater Systems)でのみ録音されているディスクは、再生できません。
●本書内の本機画面のイラスト(マークや文字、マークや文字の場所、内容など)は、分かりやすくするため簡略化してあり、実際のものとは異なります。また、再生するディスクによって、そのディスクの画面とは一部異なる場合があります。

P.12~P.14を参照し、リモコンの準備、本機と外部機器の接続(家庭用コンセントへの接続を含む)を正しく行ってから以下の操作をしてください。

DVD-R/DVD-RW VRモード

1 接続しているテレビやモニターの電源を入れ、接続に応じた入力モードに切り換える
HDMIケーブルで接続した場合、AV接続コードでビデオ端子に接続した場合など、それぞれに応じた入力モードをテレビ(モニター)側で設定してください。

2 本機の電源ボタンを押し込む
ディスプレイに「On」→「LOAd」→「nO dC」と表示され、テレビ(モニター)にはトップ画面が表示されます。

本機またはリモコンの開閉ボタンを押す
トレイが手前に出てきます。ディスクのレーベル面を上にしてトレイにセットします。

OPEn
ディスクトレイ開

4 もう一度、本機またはリモコンの開閉ボタンを押す
トレイが閉まり、ディスプレイに「LOAd」と表示され、読み込みが終わると自動的に再生が始まります。

00:46
DVD再生中
※時間表示は経過時間

ヒント

●ディスクによっては、最初にメニュー画面が表示されることがあります。その場合はお好みの内容をリモコンのカーソルボタン(▲▼▶◀)で選択し、決定ボタンを押して再生を開始してください。
●2層ディスクの再生中に映像が一瞬止まることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので故障ではありません。ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。

次ページに続く

設定

DVDを観る

DVD再生時の基本操作（つづき）

DVD-R/DVD-RW VRモード

5 リモコンの音量ボタン(＋／－)で音量を調節する

16段階で調節できます。

ヒント

●リモコンの音量調整ボタンは、本機からテレビやモニターへ送り出す音声信号を調節するものです。
●接続機器側の音量レベルが低いと、それ以上の音量にはなりません。
●本機の音量レベルを少し高めに設定し、主として音量調整は外部の接続機器側で行うことをおすすめします。

6 再生中に一時停止するには

本機またはリモコンの再生／一時停止ボタンを押す

再生が一時停止します。もう一度押すと、再生を再開します。

DVD一時停止

上のようなアイコンで表示されます。

7 再生を停止するには

本機またはリモコンの停止ボタンを押す

■停止
停止ボタンを1回押したときのアイコン

●停止ボタンを1回押すと、テレビ（モニター）の画像がトップ画面になります。この状態で再生／一時停止ボタンを押すと、停止したときの続きから再生を始めます。

09:00 停止したときの時間がそのまま表示されます。

●停止ボタンを2回続けて押すと完全に停止した状態になります。この状態で再生／一時停止ボタンを押すと、ディスクの最初から再生を始めます。

完全停止状態では「StOP」と表示されます。

2回押したときのアイコン

8 ディスクを取り出すには

本機またはリモコンの開閉ボタンを押す

トレイが完全に手前に出てきたらディスクを持ち上げて取り出します。

9 電源を切るときは本機の電源ボタンを押して切る

●リモコンの電源ボタンを押して電源を切った場合は、スタンバイ状態になります（完全には電源が切れていません）。

スタンバイ時

ご注意

●ディスクに汚れやキズがあると、画像が歪んで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
●本機での再生に適していないディスクを挿入した場合、画面に破損ディスクと表示されることがあります（ディスプレイには「rrOr」が表示されます）。ディスクのタイプやファイル形式をご確認のうえ、本機での再生に適したものをご使用ください。
●再生プログラムが備わっているDVDの場合は、最初のタイトルから再生が始まらない場合があります。
●携帯電話を本機やテレビの近くで使用しないでください。音声に異音が入ったり、テレビにノイズは出たりする場合があります。
●長期間使わない場合は、必ず本機側で電源を切り、家庭用コンセントから電源プラグを抜いてください。

早送り・早戻し

DVD-R/DVD-RW VRモード

早送り

再生中にリモコンの早送りボタンを押すと、早送りができます。
●ボタンを押すごとに早送りスピードが2倍、4倍、8倍、16倍となり、さらにもう一度早送りボタンを押すと通常の再生に戻ります。
●早送りの途中で通常の再生に戻るには、再生／一時停止ボタンを押します。
※早送り中は音声は出ません。
※タイトルをまたぐ早送りはできません。

▶▶×2 ▶▶×4 ▶▶×8 ▶▶×16 ▶再生

早送りボタンを押すごとに早送りのスピードが変わります（最大16倍）。

※通常の再生に戻る

早戻し

再生中にリモコンの早戻しボタンを押すと、早戻しができます。
●ボタンを押すごとに早戻しスピードが2倍、4倍、8倍、16倍となり、さらにもう一度早戻しボタンを押すと通常の再生に戻ります。
●早戻しの途中で通常の再生に戻るには、再生／一時停止ボタンを押します。
※早戻し中は音声は出ません。
※タイトルをまたぐ早戻しはできません。

◀◀×2 ◀◀×4 ◀◀×8 ◀◀×16 ▶再生

早戻しボタンを押すごとに早戻しのスピードが変わります（最大16倍）。

※通常の再生に戻る

スキップ(＋／－)

DVD-R/DVD-RW VRモード

スキップ(＋)

再生中にリモコンのスキップボタン(＋)を押すと、次のチャプターに進んで再生します。

この表示のあと次のチャプターの再生が始まります。

スキップ(－)

再生中にリモコンのスキップボタン(－)を押すと、前のチャプターに戻って再生します。

この表示のあと前のチャプターの再生が始まります。

消音

DVD-R/DVD-RW VRモード

再生中に消音ボタンを押すと、一時的に音声出力を中断します。音声を元に戻すには、もう一度消音ボタンを押してください。

消音中は左上に消音マークが表示されます。

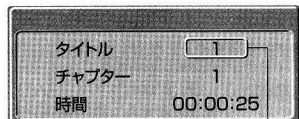
サーチ

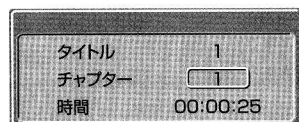
DVD-R/DVD-RW VRモード

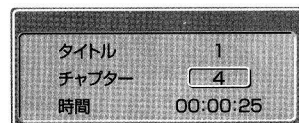
サーチ機能を使うと好きな場面を指定して再生することができます。

以下は再生中にサーチ機能を使う場合の方法です。停止時に使う場合は、タイトルとチャプターのみ指定できます（時間の指定はできません）。

1 サーチボタンを押す

サーチ画面が表示されます。
画面には、サーチボタンを押したときのタイトル番号、チャプター番号、再生経過時間が表示されます。

2 カーソルボタン（▲／▼／▶／◀）で指定したい方法を選ぶ

ボタン操作に応じて画面内のカーソル（囲み枠）が移動します。

3 数字ボタンを使って設定したい番号または時間を入力する

タイトル、チャプターは番号を、時間の場合は秒、分、時ごとにステップ2と3を繰り返して入力します。

4 決定ボタンを押す

指定した場面から再生が始まります。

ヒント

サーチの設定操作を途中で中止するにはもう一度サーチボタンを押します。

ご注意

ディスクにより機能しない場合があります。

リピート

DVD-R/DVD-RW VRモード

リモコン リピート

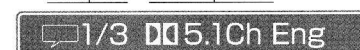
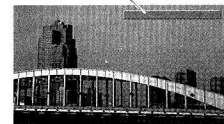
再生中にリピートボタンを押すと、特定のタイトルまたはチャプターを繰り返し再生することができます。
- ●リピートボタンを押すたびに、モードが変わります。
- ●リピートを解除するには画面に「リピート.オフ」と表示されるまで、リピートボタンを数回押してください。

チャプターリピート — チャプターを繰り返し再生
タイトルリピート — タイトルを繰り返し再生
リピートオフ — リピート解除

言語（音声言語選択）

DVD-R/DVD-RW VRモード

ディスクに複数の音声言語が収録されている場合、再生中に言語ボタンを押すとお好みの音声言語に切り換えることができます。

選択中の言語／含まれている音声言語数
音声種別（下記はドルビー 5.1chの例）
1/3 DD 5.1Ch Eng
言語（上記は英語の場合）

ご注意
- ●この機能は対応ディスクのみ有効です。また収録されている音声言語数はディスクにより異なり、パッケージのマークにその数が表示されています。
  （音声言語数が2の場合：②)))）
- ●ディスクにより機能しない場合があります。
- ●言語ボタンを押しても希望する言語が表示されない場合は、言語がディスクに含まれていません。
- ●電源を切ると、セットアップメニューの「言語」>「音声」で選択されている言語に戻ります。
- ●二重音声を含んだDVD-R／DVD-RW（VRモード）の場合は主音声と副音声が切り換わります。

字幕

リモコン 字幕

ディスクに収録された字幕を表示・選択することができます。
- ●再生中に字幕ボタンを押すたびに、字幕の内容が切り換わります。
- ●字幕を消すには、字幕ボタンを数回押して「オフ」にします。

1/2
2/2
オフ

字幕の種類はディスクにより異なります。
右上の表示は約2秒後に消えます。

ご注意
- ●ディスクによっては自動表示されるものもあり、画面から消すことはできません。
- ●この機能は対応ディスクのみ有効です。また、字幕言語数はディスクにより異なり、パッケージのマークに字幕内容が表示されています。
  （字幕が2種類の場合：2）
- ●DVDによっては、ディスク内に収録されているメニューで字幕の設定をするものもあり、操作方法が異なります。DVDに付属の取扱説明書をご確認ください。
- ●電源を切ると、セットアップメニューの「言語」>「字幕」で選択されている字幕言語に戻ります。
- ●選択された言語がディスクに含まれていないときは、ディスクに入っている言語が選ばれます。
- ●変更した字幕（言語）が表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。

タイトル

再生中または停止中にタイトルボタンを押すと、タイトルメニューを表示します。この機能はタイトルメニューが収録されているディスクのみ有効です。
- ●表示されたタイトルメニューを見ながら、カーソルボタン（▲／▼／▶／◀）でお好みのタイトルを選び、決定ボタンまたは再生／一時停止ボタン（本機またはリモコン）を押すと、再生が始まります。

タイトルメニューの画面内容はディスクによって異なります。左上の表示は約2秒後に消えます。

ご注意
- ●ディスクによっては、タイトルボタンが機能しないものもあります。
- ●この機能は対応ディスクのみ有効です。
- ●DVDディスクは通常「タイトル」と呼ばれるセクションに大分割され、さらに各タイトルは「チャプター」と呼ばれるセクションに小分割されています。オーディオCDやビデオCDは「トラック」と呼ばれるセクションに分割されています。本機は「タイトル」を選んで再生することができます。

リターン

再生中にリターンボタンを押すと、タイトルメニューを表示します。この機能はタイトルメニューが収録されているディスクのみ有効です。
- ●もう一度リターンボタンを押すと、前の画面に戻り再生を再開します。

タイトルメニューの画面内容はディスクによって異なります。左上の表示は約2秒後に消えます。

ご注意
- ●ディスクによっては、リターンボタンが機能しないものもあります。
- ●この機能は対応ディスクのみ有効です。

メニュー

再生中または停止中にメニューボタンを押すと、ディスクメニューを表示します。この機能はディスクメニューが収録されているディスクのみ有効です。

- ●表示されたディスクメニューを見ながら、カーソルボタン(▲/▼/▶/◀)でお好みのメニューを選び、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押すと選択が確定します。
- ●ディスクによってはさらに次の階層へとメニューが展開しているものもあります。

ディスクメニューの画面内容はディスクによって異なります。左上の表示は約2秒後に消えます。

ご注意

- ●ディスクによっては、機能しないものもあります。
- ●この機能は対応ディスクのみ有効です。
- ●DVDディスクは通常「タイトル」と呼ばれるセクションに大分割され、さらに各タイトルは「チャプター」と呼ばれるセクションに小分割されています。オーディオCDやビデオCDは「トラック」と呼ばれるセクションに分割されています。本機は「タイトル」を選んで再生することができます。

アングル

複数のカメラアングルでの映像が収録されているディスクの場合、アングルボタンを押すことで、別アングルからの映像を楽しむことができます。

別アングルからの映像の表示方法はディスクによって異なります。左上の表示は約2秒後に消えます。

ご注意

- ●この機能は対応ディスクのみ有効です。また収録されているアングル数はディスクにより異なり、パッケージのマークにその数が表示されています。(アングル数が2の場合：2)
- ●アングルボタンを押した時に、無効マーク(⦸)が表示された場合は、カメラアングルを変更することはできません。
- ●ディスクにより、別アングルからの映像の表示方法は異なります。アングルマーク(例/🎥)を表示するものもあります。
- ●この機能は対応ディスクのみ有効です。
- ●ディスクによっては別アングル映像の収録が部分的であったり、アングルの切り換えができない場合があります。

画面表示

DVD-R/DVD-RW VRモード

リモコン
画面表示

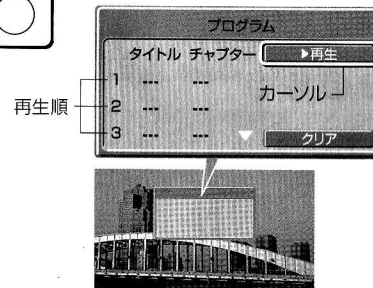
再生中に画面表示ボタンを押すと、そのDVDに関する様々な情報を表示することができます。情報は再生中の画面の上に透過式で表示されます。

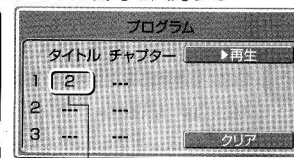
プログラム

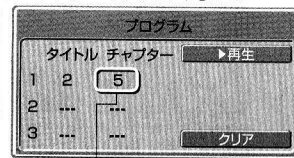
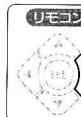
ディスクに記録されている内容を好きな順番に登録して再生することができます。
最大12シーン(チャプター)まで登録できます。

1 プログラムボタンを押す

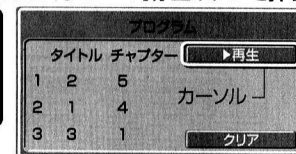
リモコン
プログラム

プログラムを登録する画面が表示されます。

2 カーソルボタン(▲/▼/▶/◀)で1番目に登録するタイトル部にカーソルを合わせ、数字ボタンでタイトル番号を入力する

リモコン
① ② ③ ④
⑤ ⑥ ⑦ ⑧
⑨ ⓪

カーソルを移動させて数字ボタンで入力します。ディスクにないタイトル番号を入れると、カーソルを動かしたときに「---」に戻ります。

3 カーソルボタン(▶)で1番目に登録するチャプター部にカーソルを合わせ、数字ボタンでチャプター番号を入力する

カーソルを移動させて数字ボタンで入力します。ステップ2で選んだタイトルにないチャプター番号を入れると、カーソルを動かしたときに「---」に戻ります。

4 ステップ2と3を繰り返し2番目以降のプログラムを登録する

5 再生順をすべて登録したらカーソルボタン(▲/▼/▶/◀)で【▶再生】にカーソルを合わせ、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押す

本機の再生/一時停止ボタンでもプログラム再生を実行できます。

ヒント

●プログラム登録中に内容を修正するときは
修正したいタイトルまたはキャプチャーにカーソルを動かし、新しい数字を入力します。

●プログラムをすべてクリアするには
登録画面中の【クリア】にカーソルを合わせてリモコンの決定ボタンを押します。

●プログラム再生中に内容を修正するには
プログラムボタンを押して登録画面を表示し、ステップ2以降の手順で修正します。この場合、プログラム再生を再開すると、1番目に登録したチャプターから再生が始まります。

●プログラムの解除について
以下の操作を行った場合、プログラムが解除され、内容も破棄されます。その際は最初からプログラム登録をやり直してください。

- ·電源オフ
- ·ディスクトレイの開閉
- ·メニューやタイトルボタンを押したとき
- ·完全停止(停止ボタンを2回押す)を行ったとき

CD再生時の基本操作 電源オン～再生～停止～電源オフ

●本機は、DVD、オーディオCD、MP3CDディスクの再生ができます。
●規格以外の特殊なディスクは、再生できませんのでご注意ください。
●本書内の本機画面のイラスト(マークや文字、マークや文字の場所、内容など)は、分かりやすくするため簡略化してあり、実際のものとは異なります。また、再生するディスクによって、そのディスクの画面とは一部異なる場合があります。

P.12~P.14を参照し、リモコンの準備、本機と外部機器の接続(家庭用コンセントへの接続を含む)を正しく行ってから以下の操作をしてください。

❶ 接続しているテレビやモニターの電源を入れ、接続に応じた入力モードに切り換える

HDMIケーブルで接続した場合、AV接続コードでビデオ端子に接続した場合など、それぞれに応じた入力モードをテレビ(モニター)側で設定してください。

❷ 本機の電源ボタンを押し込む

ディスプレイに「On」→「LOAd」→「nO dC」と表示され、テレビ(モニター)にはトップ画面が表示されます。

❸ 本機またはリモコンの開閉ボタンを押す

トレイが手前に出てきます。ディスクのレーベル面を上にしてトレイにセットします。

OPEN

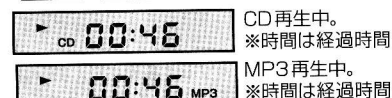
ディスクトレイ開

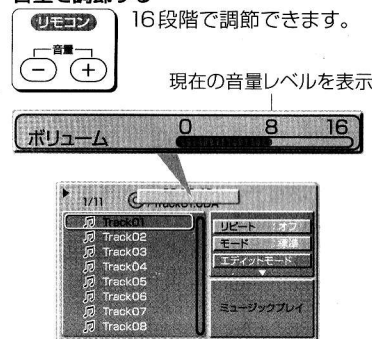
レーベル面を上にしてセットしてください

❹ もう一度、本機またはリモコンの開閉ボタンを押す

トレイが閉まり、ディスプレイに「LOAd」と表示され、読み込みが終わると自動的に再生が始まります。

▶ CD 00:46　CD再生中。※時間は経過時間

▶ 00:46 MP3　MP3再生中。※時間は経過時間

ご注意

●曲名は日本語表示できない場合があります。
●自動で再生が始まらない場合は、本機またはリモコンの再生／一時停止ボタンを押して、再生を開始してください。

❺ リモコンの音量ボタン(＋/－)で音量を調節する

リモコン　16段階で調節できます。

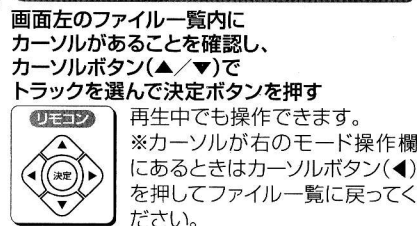
現在の音量レベルを表示

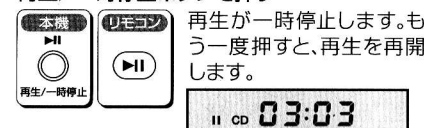
ヒント

●リモコンの音量調整ボタンは、本機からテレビやモニターへ送り出す音声信号を調節するものです。
●接続機器側の音量レベルが低いと、それ以上の音量にはなりません。
●本機の音量レベルを少し高めに設定し、主として音量調整は外部の接続機器側で行うことをおすすめします。

❻ 好きな曲を選んで再生するには

画面左のファイル一覧内にカーソルがあることを確認し、カーソルボタン(▲/▼)でトラックを選んで決定ボタンを押す

再生中でも操作できます。
※カーソルが右のモード操作欄にあるときはカーソルボタン(◀)を押してファイル一覧に戻ってください。

この中にカーソルがあることを確認してください。

曲目が多い場合は、カーソル(▼)を何度か押し続けると、スクロールして表示されます。

❼ 再生中に一時停止するには

本機またはリモコンの再生／一時停止ボタンを押す

再生が一時停止します。もう一度押すと、再生を再開します。

II CD 03:03

左のようなアイコンで表示されます。

❽ 再生を停止するには

本機またはリモコンの停止ボタンを押す

●停止ボタンを1回押すと、下のようなアイコンが表示されます。この状態で再生／一時停止ボタンを押すと、停止時の続きから再生を始めます。

CD 03:50　停止したときの時間がそのまま表示されます。

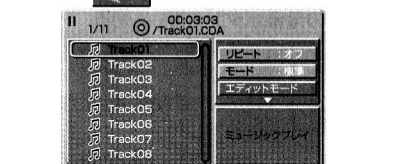
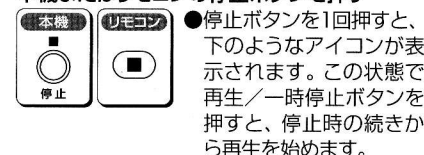
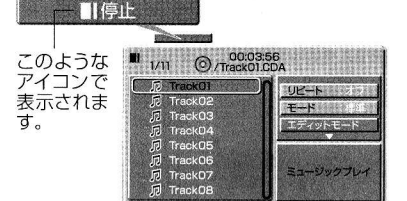
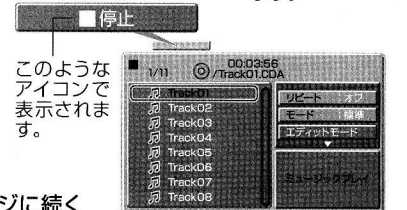
このようなアイコンで表示されます。

●停止ボタンを2回続けて押すと完全に停止した状態になります。この状態で再生／一時停止ボタンを押すと、ディスクの最初から再生を始めます。

StOP　完全停止状態では「StOP」と表示されます。

■停止

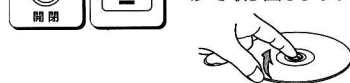
1/11　00:03:56　/Track01.CDA　Track01　Track02　Track03　Track04　Track05　Track06　Track07　Track08　リピート　オフ　モード　標準　エディットモード　ミュージックプレイ

このようなアイコンで表示されます。

次ページに続く

CDを聴く

CD再生時の基本操作（つづき）

9 ディスクを取り出すには

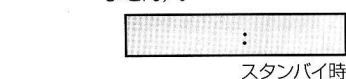
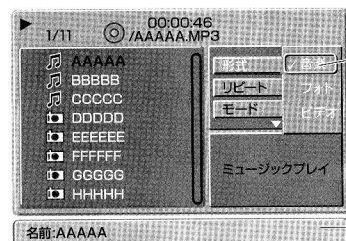
本機またはリモコンの開閉ボタンを押す

トレイが完全に手前に出てきたらディスクを持ち上げて取り出します。

10 **電源を切るときは**
本機の電源ボタンを押して切る

リモコンの電源ボタンを押して電源を切った場合は、スタンバイ状態になります（完全には電源が切れていません）。

スタンバイ時

ご注意

- ●ディスクに汚れやキズがあると、ディスクの読み込みエラーが発生したり、再生が停止したりすることがあります。このような場合は、まずディスクを取り出して清掃してください。その後、本機の電源を切り、電源プラグをいったん抜いて差し直してから再生してみてください。
- ●本機での再生に適していないディスクを挿入した場合、画面に破損ディスクと表示されることがあります（ディスプレイには「rrOr」が表示されます）。ディスクのタイプやファイル形式をご確認のうえ、本機での再生に適したものをご使用ください。
- ●長期間使わない場合は、必ず本機側で電源を切り、家庭用コンセントから電源プラグを抜いてください。

ヒント 本機でMP3の音楽ファイルやJPEGデータを再生する場合

全般

●**画面の右上の項目に【形式】が加わります。**
ここをカーソルボタン（▲／▼／▶／◀）で選んで決定ボタンを押すと、左の一覧欄に表示する種類を【音声】【フォト】【ビデオ】から選べるようになります。
※チェックマーク（✓）の付いた内容が左の一覧に表示されます。チェックマークをオン･オフはカーソルボタン（▲／▼／▶／◀）で種類選び決定ボタンを押してください。

●CD-TEXTを含んだディスクを再生するときには、画面下部にファイル情報（曲名、アーティスト名、発表年など）が順に表示されます。ただし日本語を含むテキストは正しく表示されません。

ご注意

写真ファイル（JPEG）を含んだCDを再生すると、画面全体に画像が映し出され、操作画面が消えます。新たな操作をする場合は停止ボタンを押してください（操作画面に戻ります）。

フォルダで階層化された CD の場合

●CDディスクを正常に読み込むとフォルダが表示されます。
ここをカーソルボタン（▲／▼）で選んで決定ボタンを押すと、下位の階層のファイルを表示しますので、そこから再生するファイル（曲）を選んでください。

●いったん下位のフォルダに進んだ後、上の階層に戻るには、ファイル一覧の上段に表示される のアイコンをカーソルボタン（▲／▼）で選んで、決定ボタンを押します。

ご注意

階層化されたCDのプログラム再生には対応しておりません。

早送り・早戻し

早送り

再生中にリモコンの早送りボタンを押すと、早送りができます。
- ●ボタンを押すごとに早送りスピードが2倍、4倍、8倍、16倍となり、さらにもう一度早送りボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- ●早送りの途中で通常の再生に戻るには、再生／一時停止ボタンを押します。

※早送り中は音声は出ません。
※トラックをまたぐ早送りはできません。

早送りボタンを押すごとに早送りのスピードが変わります（最大16倍）。

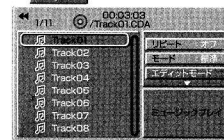
▶▶×8
▶▶×16
▶再生 ※通常の再生に戻る

早戻し

再生中にリモコンの早戻しボタンを押すと、早戻しができます。
- ●ボタンを押すごとに早戻しスピードが2倍、4倍、8倍、16倍となり、さらにもう一度早戻しボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- ●早戻しの途中で通常の再生に戻るには、再生／一時停止ボタンを押します。

※早戻し中は音声は出ません。
※トラックをまたぐ早戻しはできません。

早戻しボタンを押すごとに早戻しのスピードが変わります（最大16倍）。

◀◀×4
◀◀×8
◀◀×16
▶再生 ※通常の再生に戻る

スキップ（＋／－）

スキップ（＋）

再生中にリモコンのスキップボタン（＋）を押すと、次のトラックに進んで再生します。

▶▶| 次へ

この表示のあと次のトラックの再生が始まります。

スキップ（－）

再生中にリモコンのスキップボタン（－）を押すと、前のトラックに戻って再生します。

|◀◀ 前へ

この表示のあと前のトラックの再生が始まります。

消音

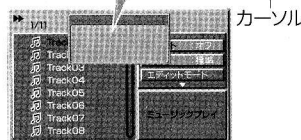
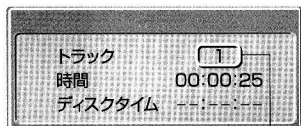
再生中に消音ボタンを押すと、一時的に音声出力を中断します。音声を元に戻すには、もう一度消音ボタンを押してください。

消音中は左上に消音マークが表示されます。

サーチ

サーチ機能を使うと好きな場所を指定して再生することができます。以下は再生中にサーチ機能を使う場合の方法です。

❶ サーチボタンを押す

サーチ画面が表示されます。
画面には、サーチボタンを押したときのトラック番号、時間が表示されます。

ヒント

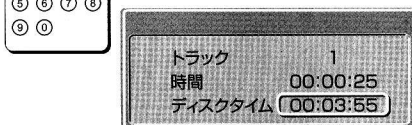
トラック	トラック番号で曲を指定
時　間	トラック内の時間で再生開始場所を指定
ディスクタイム	ディスク全体の中での時間で再生開始場所を指定

トラックと時間は組み合わせて指定することができます。ディスクタイムを指定した場合はその設定が優先されます。

❷ カーソルボタン(▲/▼/▶/◀)で指定したい方法を選ぶ

ボタン操作に応じて画面内のカーソル(囲み枠)が移動します。

❸ 数字ボタンを使って設定したい番号または時間を入力する

トラックは番号を、時間、ディスクタイムの場合は秒、分、時ごとにステップ2と3を繰り返して入力します。

❹ 決定ボタンを押す

指定した場所から再生が始まります。

ヒント

●サーチの設定操作を途中で中止するにはもう一度サーチボタンを押します。

●数字ボタンでトラック番号を押して、ダイレクトに聴きたい曲を選ぶこともできます。この場合、決定ボタンを押さなくても数秒後に自動的に再生が始まります。

ご注意

●停止時に使う場合は、トラックとディスクタイムのみ指定できます(時間の指定はできません)。
●MP3CDディスクのサーチは、時間のみとなります。また完全停止時はサーチ機能は利用できません。

リピート

再生中または停止中にリピートボタンを押すと、特定のフォルダーまたは曲を繰り返し再生することができます。
●リピートボタンを押すたびに、モードが変わります。
●リピートを解除するには画面に「リピート：オフ」と表示されるまで、リピートボタンを数回押してください。

ヒント

画面上の【リピート】をカーソルボタン(▲/▼/▶/◀)で選び、決定ボタンを押しても同様の操作ができます(決定ボタンを押すたびにモードが変わります)。

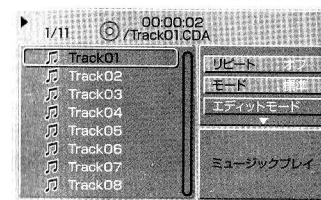
オフ	リピートなし
シングル	選択中の曲を繰り返し再生
フォルダ	選択中のフォルダを繰り返し再生
オール	ディスク内の全曲を繰り返し再生

ここのモード表示が変わります。上段の表示は約2秒消えます。

モード(再生モードの変更)

画面に表示されている【モード】を切り換えることで、再生モードを変更することができます。

●画面上の【モード】をカーソルボタン(▲/▼/▶/◀)で選び、決定ボタンを押すと、押すたびに再生モードが変わります。

標準	通常の再生モード
ランダム	ディスク内の曲をランダムに再生します
Music Intro	ディスク内の曲を、最初の10秒ずつ演奏します

選択した内容によって画面の表示が変わります。

音声切換(再生中のみ有効)

再生中に言語ボタンを押すと、出力音声を切り換えることができます。

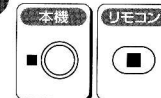
●言語ボタンを押すたびに、以下のように変わります(再生時以外は変更できません)。

L-モノラル	L音声をモノラル出力
R-モノラル	R音声をモノラル出力
MIX-モノラル	L/Rの音声をミックスしてモノラル出力
ステレオ	ステレオ出力

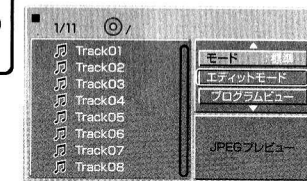
ここのモード表示が変わり、約2秒で表示は消えます。

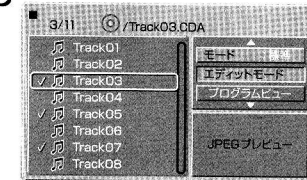
プログラム再生

ご注意 プログラム登録は、リモコンのプログラムボタンでは操作できません。下記手順で行ってください。

❶ CDを再生中の場合は、停止ボタンを2回押す

完全停止させてください。

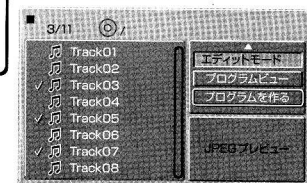
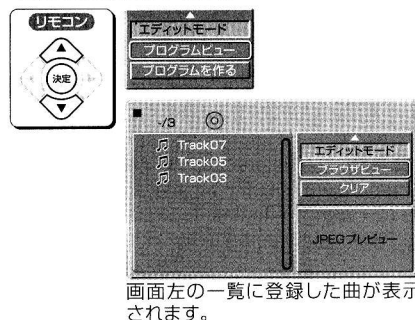
❷ カーソルボタン(▲/▼/▶/◀)で【エディットモード】を選び、決定ボタンを押す

決定ボタンを押すと【エディットモード】の色が変わります。

❸ カーソルボタン(◀)でカーソルを画面左の一覧に移動させた後、カーソルボタン(▲/▼)でプログラム登録したい曲を選び決定ボタンを押す

プログラム登録したい順番で、カーソルボタン(▲/▼)で選び決定ボタンを押す操作を繰り返してください。選んだ曲にはチェックマーク(✓)がつきます。

❹ カーソルボタン(▶)でカーソルを画面右のメニューに移動させた後、カーソルボタン(▲/▼)で【プログラムを作る】を選んで決定ボタンを押す

決定ボタンを押すと、チェックマーク(✓)が消えます。

次ページに続く

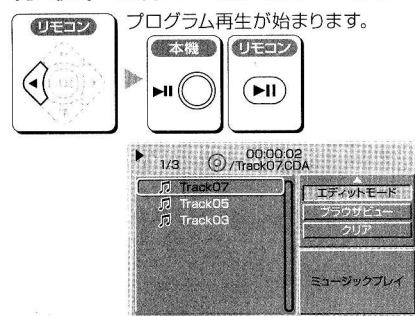
プログラム再生(つづき)

5 カーソルボタン(▲／▼)で【プログラムビュー】を選び、決定ボタンを押す

画面左の一覧に登録した曲が表示されます。

6 カーソルボタン(◀)でカーソルを画面左の一覧に移動させ、再生／一時停止ボタンを押す

プログラム再生が始まります。

プログラムを追加するには

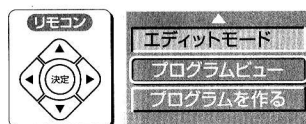
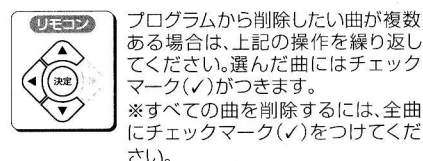
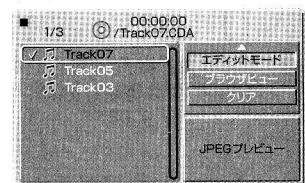
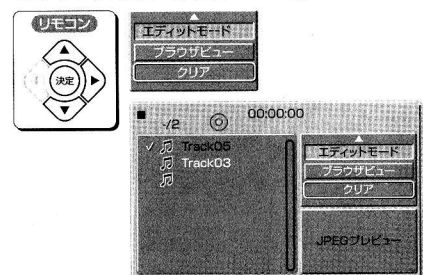
●エディットモードになっていること
●再生が完全停止状態であること
●画面左の一覧表示がブラウザビューになっていること(下記ヒント参照)
を確認し、前項のステップ3～4の操作を行うと、既存のプログラムに新しく選んだ曲が追加されます。その後、ステップ5･6に進みプログラム再生をお楽しみください。

ヒント

画面右のメニュー一覧が下図の表示のときは、カーソルボタン(▲／▼／▶／◀)で【ブラウザビュー】を選び、決定ボタンを押すと、ブラウザビューに変わります(ディスク内の全曲が表示されます)。

プログラムを削除するには

●エディットモードになっていること
●再生が完全停止状態であること
●画面左の一覧がプログラムビューになっていること(下記ヒント参照)
を確認してから、以下の操作をしてください。

ヒント

画面右のメニュー一覧が下図の表示のときは、カーソルボタン(▲／▼／▶／◀)で【プログラムビュー】を選び、決定ボタンを押すと、プログラム内容が表示されます。

1 カーソルボタン(◀)でカーソルを画面左の一覧に移動させた後、カーソルボタン(▲／▼)で削除したい曲を選び決定ボタンを押す

プログラムから削除したい曲が複数ある場合は、上記の操作を繰り返してください。選んだ曲にはチェックマーク(✓)がつきます。
※すべての曲を削除するには、全曲にチェックマーク(✓)をつけてください。

2 カーソルボタン(▶)でカーソルを画面右のメニューに移動させた後、カーソルボタン(▲／▼)で【クリア】を選んで決定ボタンを押す

選択した曲が一覧から削除されます。

ヒント

●ディスクトレイを開けた場合　●電源を切った場合もプログラムの設定は解除されます。

故障かなと思ったら

電源に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
電源が入らない	・電源プラグがはずれていませんか? または断線していませんか? ・リモコンの乾電池が消耗していませんか? ・リモコンの乾電池が正しく入っていますか?	→配線を再確認する →新しい乾電池と交換する →乾電池の⊕⊖の向きを確認する

映像に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
画像が出ない	・接続機器の電源は入っていますか? ・配線は正しく接続されていますか? また、断線したりはずれてはいませんか? 本機とテレビは直接接続されていますか? ・画像の出ないディスクが入っていませんか? ・テレビの入力切換は正しいですか?	→接続機器の電源を確認する →接続を再確認する →再生できるディスク以外のものが入っていないか確認する →正しく切り換える
画面が暗い	・明るさは正しく調整されていますか? ・コントラストは正しく調整されていますか? ・温度が−3℃以下になっていませんか? ・他のAV機器との接続を間違えていませんか?	→正しく調整する →正しく調整する →正常温度になるまで使わない →接続を確認する (AV機器の取扱説明書を参考にする)
映像がゆれる	・電源を1箇所から集中して接続していませんか?	→各機器の電源接続を分散する
映像にノイズやゆがみ･乱れが出る	・ディスクが汚れていたり、傷がありませんか? ・セットアップメニューのテレビタイプの設定がPALになっていませんか? ・携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用していませんか?	→ディスクを確認する →自動またはNTSCに変更する(P.19参照) →本機から離して使用する
画面の縦方向が縮小している	・セットアップメニューの TV 画面の設定が4：3になっていませんか?	→16：9に設定変更する(P.18参照)
再生中に、不自然なブロックノイズが見えるときがある	以下の場合に発生することがありますが、故障ではありません。 ・元の画像にブロックノイズがすでにある状態での録画の場合 ・天候などによって受信状態が悪化した状態での録画の場合 ・画像レート設定が近い状態での録画の場合 ・画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合 ・ディスク上の物理エラーによる場合	−

故障かなと思ったら(つづき)

音声に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
音が出ない (接続機器の音が出ない)	・音量を最小にしていませんか? ・「消音」したままになっていませんか? ・他のAV機器との接続を間違えていませんか? ・接続されているアンプの音量が最小になっていませんか? ・接続されているアンプの電源は入っていますか? ・接続されている機器のヘッドホンジャックにヘッドホンが差し込まれていませんか? ・オーディオ出力機器の設定が間違っていませんか? ・ドルビーデジタルの音声を再生していませんか?	→本体とリモコンの音量レベルを確認する →消音を解除する →接続を再確認する →アンプの音量レベルを上げる →電源を確認して入れる(ONにする) →ヘッドホンを抜く →設定を合わせる →デジタル音声出力端子(光デジタル音声端子)に接続する
雑音が聞こえる	・近くで携帯電話を使用していませんか?	→携帯電話を本機から離して使用する

操作に関連する内容

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
DVDのプログラム再生ができない	・DVDによってはプログラム再生できないDVDビデオがあります。	—
字幕が表示されない	・字幕の入ったディスクのみ表示します。 ・セットアップメニューの字幕の設定が「オフ」になっていませんか?(P.16)	→字幕が入っているかどうか確認する →「オフ」以外の設定に変更する
暗証番号の設定で設定した暗証番号を忘れた	—	→セットアップメニューの「パスワード変更」で暗証番号の変更をする
すべての設定を買い上げ時に戻したい	—	→セットアップメニューの「初期設定」で初期化する
再生できない またはすぐに停止する	・寒い所から急に暖かい所に持ち込むと結露により再生できない場合があります。 ・ディスクが汚れていませんか? ・記録済みのディスクが入っていませんか? ・ディスクが正しくセットされていますか? ・視聴制限の設定が有効になっていませんか? ・2層ディスクが1層から2層に切り換わったような感じではありませんか? ・原因がはっきりしない場合	→1～2時間放置する →P.43を参考にディスクをクリーニングする →再生できるディスクかどうか、確認する →ディスクを正しくセットする →視聴制限の設定で規制レベルを変更する →映像が一瞬止まることがありますが、故障ではありません →1.停止ボタンを押してから再生ボタンを押してみる 2.本機の電源を切り、電源プラグを家庭用コンセントから抜き、再度差し込んでから再生してみる

こんなときは	ここを確かめてください	こうしてください
DVDやCDの再生ができない	・記録されているフォーマットが未対応、または本機で再生できるリージョン番号でないディスクではありませんか? ・ディスクに汚れやキズが付いていませんか?	→ディスクを確認する →P.43を参考にディスクをクリーニングする、または交換する
市販のDVDを再生しているときに言語ボタンを押しているのに、音声が日本語に切り換わらない	・DVDビデオに日本語の音声が入っていますか? ・言語ボタンでの切換はディスクによっては制限されている場合があります。	→ディスクを確認する →DVD側のメニュー画面から、音声を切り換える —
各ボタン操作ができない	・特定の操作を禁止しているディスクもあります。 ・落雷や静電気の影響により、本機が正常に動作しないことがあります。	— →本機の電源を一度切/入する または電源を切って、リモコンの乾電池を取り外し、もう一度入れる
リモコン操作ができない	・リモコンに電池は入っていますか? ・リモコンの電池が消耗していませんか? ・本機のリモコン受光部に向けて操作していますか? ・リモコン受光部に強い光が当たっていませんか? ・リモコンと受光部が遠すぎませんか? ・リモコンと受光部の間に障害物がありませんか? ・乾電池が正しく入っていますか?	→電池を入れる →電池を新しくする →受光部に向けて操作する →光が当たらないよう向きを変える →約4m以内、上下左右30℃以内のところで操作する →障害物を取り除く →乾電池の⊕⊖の向きを確認する

用語解説

用 語	説 明
CPRM	コピー制限のあるテレビ番組を記録するときに使われている著作権保護技術のことです。詳しくはP.7の「CPRMとは?」の項を参照してください。
DTS	Digital Theater Systemの略です。デジタルシアターシステムズ社が開発したデジタル音声システムです。音声6chを使って、正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。DTS対応プロセッサやアンプとの接続で、映画館のような音声が楽しめます。ドルビーデジタルとは異なるいサラウンドシステムです。
HDMI	一本のケーブルで、映像と音声のデジタル信号をやり取りできるインターフェース(接続)規格。従来のように音声と映像の複数のケーブルは必要なく、データの劣化も低いことから、多くのAVマルチメディア機器で採用されています。
HD解析度	本機からテレビやモニターに送り出す映像データの細かさを設定します。
JPEG	Joint Photographic Expert Groupの略で、ジェーペグと読みます。静止画像などを圧縮、伸長させる機能を持ったアルゴリズムです。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDの画像/音声はこの方法で記録されています。
MP3	音楽・音声のためのデジタル圧縮ファイルフォーマットのひとつ。データを極端な音質の劣化を伴わずに圧縮でき、パソコンをはじめ、CDプレーヤーDVDプレーヤーでの再生も容易なことから現在の主流フォーマットのひとつになっています。
PCM	Pulse Code Modulation(パルス符号変調)。音声などのアナログ信号をパルス列に変換するパルス変調の一つ。
RCA端子・コード	中心部に金属のピンがあり、周囲に切込みのはいった金属がついている、AV機器接続用の端子・コード。本機に付属しているAV接続コードはステレオ音声左(白)、ステレオ音声右(赤)、映像(黄色)の各端子を、本機と外部機器、それぞれ同色の端子と接続すれば使うことができます。
VRモード	P.7の「ビデオモード、VRモードとは?」の項を参照してください。
アングル	同じ映像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめます。ディスク側にこのデータが含まれていないとこの機能は使えません。
視聴制限(パレンタルロック)	DVDディスクの中には、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。ディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。
スクリーンセーバー	テレビやモニターの焼き付けを防ぐために、一定時間静止画像が続くと、自動的に簡単な動画(またはアニメーションなど)が起動する機能です。
セットアップメニュー	本機でディスクを再生して楽しむための、映像・音声に関する出力設定や視聴制限(ペアレンタルレベル)などを設定します。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画などが入っているときなど、各映画の題名(タイトル)などをいいます。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターといいます。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
ドルビーデジタル(5.1ch)	ドルビーラボラトリーズが開発した立体音響効果のことです。5.1chの独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。ドルビーデジタルを楽しむには、本機の光デジタル音声出力端子とドルビーデジタル対応アンプの光デジタル音声入力端子を接続することが必要です。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。
トラック(ファイル)	音楽用CDの各曲やJPEGデータの各画像をトラック(ファイル)といいます。
パンスキャン	4:3のテレビと本機を接続し、ワイド(16:9)ディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4:3のサイズにする機能です。
リージョンコード(再生可能地域番号)	DVDは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョンコードといいます。

よくあるご質問

Q 5.1ch音声を楽しむために必要な機器は?

A ドルビーデジタルのある AV アンプ (5.1ch 音声出力端子付き)と接続します。

Q 海外でも使用できますか?

A 国内使用のみです。

Q 病院で使えますか?

A 本機が出す電磁波により、医療機器に影響を与えるおそれがあります。病院の指示に従ってください。

Q 海外で買ったDVDビデオを再生できますか?

A リージョンコードが「2」を含むか「ALL」で、映像方式がNTSCであれば、再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。

主な仕様

電 源	本体:AC100V 50/60Hz 7W リモコン:単4形乾電池×2本
外形寸法	幅300×高さ48×奥行233 単位mm(突起物含まず)
質 量	約1500g
付 属 品	リモコン、動作確認用単4形乾電池(2本)、AV接続コード(RCA)、取扱説明書(保証書付)

ビデオ信号方式	NTSC、PAL
ビデオフォーマット	MPEG 1、MPEG 2
オーディオフォーマット	MPG 1、LAYER 1、 LAYER2、LAYER 3
アナログ音声出力電圧	1~2V

※仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れのしかた

お手入れの際には必ず電源の配線をはずしてください。感電の原因となることがあります。

キャビネットの清掃

キャビネットやパネル操作面が汚れたら、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときには、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。

コンパクトディスクのお手入れ

本機にセットする前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。必ず内側から外側に放射状にふいてください。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーやスプレー静電防止剤は絶対に使用しないでください。
- キャビネットやパネル操作面をシンナーやベンジン、アルコールなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 他の洗剤等をお使いになるときは、その注意書に従ってください。

必ず内側から外側へ拭く

保証とアフターサービス

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。